レガージュ

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●正しく施工、組付けをしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■目　　次

		ページ
●本体	梱包明細	1～2
	取付説明	2～11
●レガージュゲート	梱包明細	12
	取付説明	12～15
	電動装置梱包明細，取付説明	16～23
●ＦＩＸパネル	梱包明細	24
	ＦＩＸパネル取付説明	24～27
●スライディングパネル	梱包明細	28
	スライディングパネル取付説明	28～32

■梱包明細書

1柱セット　60型（2梱包）　52型（1梱包）

名　　称	員数
柱(右)、(左)	各1

2支柱セット　(52型用)

名　　称	員数
支柱	2

3中柱セット　(60型用)

名　　称	員数
中柱	2

4側桁セット　右、左（各1梱包）

名　　称	員数	
	60型用	52型用
側桁	1	1
中骨カバー	1	1
ベース材(側面用)	1	—
丸樋	1	1

5前桁セット

名　　称	員数
前桁	1
柱ピッチゲージ	2
縦目隠し	2
上部目隠し	1

6後桁・ベース材セット　(60型用)

名　　称	員数
後桁	1
ベース材(後面用)	1

7端部垂木セット

名　　称	員数	
	60型用	52型用
端部垂木	2	2
中間垂木	2	1
端部垂木カバーA	2	2
中間垂木カバーA	2	1
端部垂木カバーB	4	4
中間垂木カバーB	4	2
FIX押え	2	1
桁ビート材	8	6
FIX板	2	1

8中間垂木セット

名　　称	員数
中間垂木	5
中間垂木カバーA	5
中間垂木カバーB	10
桁ビート材	8

9中骨セット

名　　称	員数	
	60型用	52型用
中骨	16	14
サブ中骨	8	7

10屋根材Aセット

名　　称	員数	
	60型用	52型用
屋根材A	8	7

11屋根材Bセット

名　　称	員数	
	60型用	52型用
屋根材B	16	14

■梱包明細書（つづき）

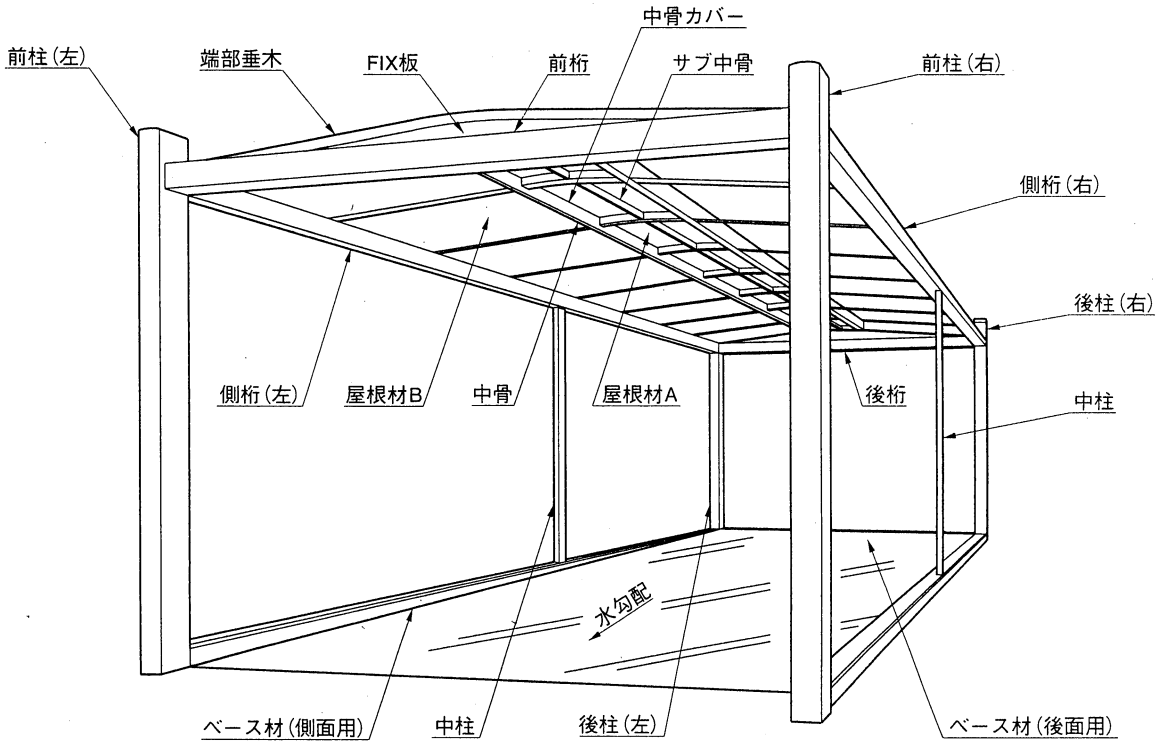
⑫部品セット

名称	員数 60型用	員数 52型用
前後桁固定金具	4	2
ベース固定金具	6	―
側桁固定金具(A)	4	2
側桁固定金具(B)	4	2
中柱固定金具	2	―
中柱固定金具裏板	2	―
桁キャップ(右)	―	1
桁キャップ(左)	―	1
柱キャップ	4	2
中骨カバーキャップ(右)	2	2
中骨カバーキャップ(左)	2	2
前後桁部ビート材 L＝3100	2	1
中骨部ビート材 L＝732	16	14
アンカー棒 φ9×200	4	4
コーキング剤	1	1
取説	1	1
潤滑剤	1	1
施主様用取扱い説明書	1	1
保証書	1	1

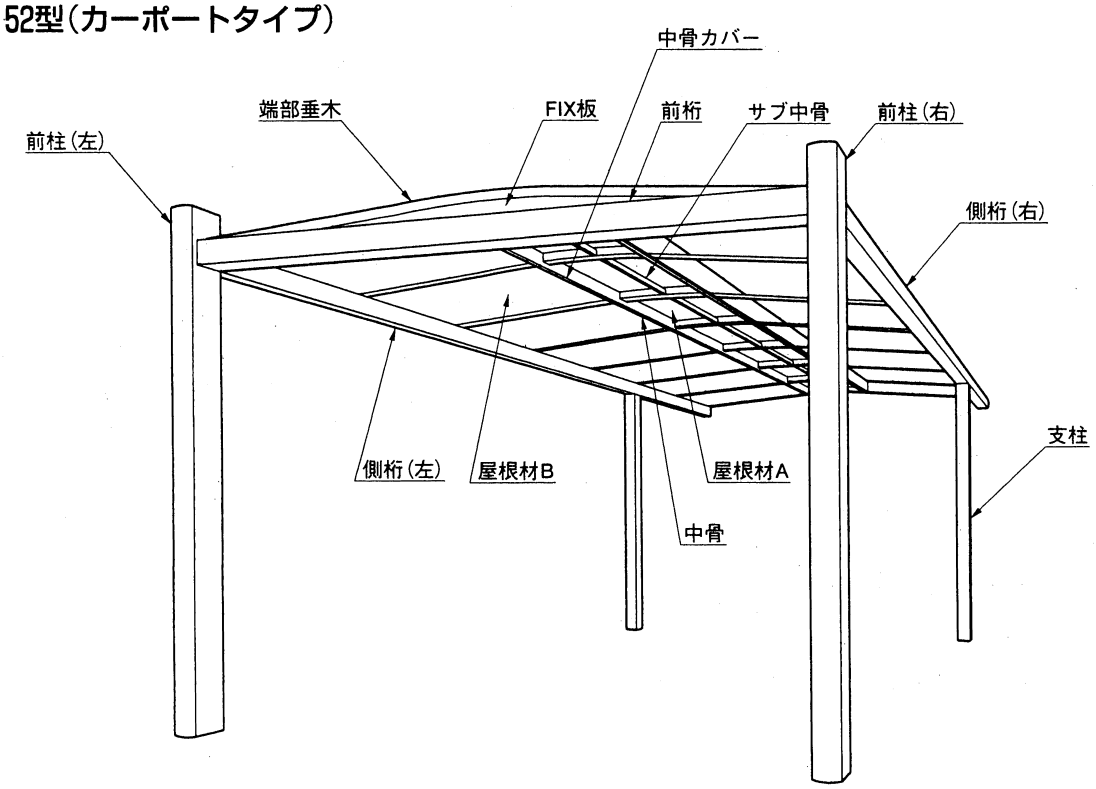
	名称	員数 60型用	員数 52型用
	φ4×10トラス3種ネジ (D＝8)(色)	82	48
	M5×12トラスネジ (色)	32	16
	φ4×14バインドテクスネジ (色)	41	30
	φ4×10トラス3種ネジ (樹脂パッキン付)(色)	144	128
	φ4×12トラス1種ネジ (D＝8)(色)	44	44
	M8×16六角ボルト (Wセムス)(色)	4	4
	フィッシャー	20	―
	φ4.1×45丸木ネジ (樹脂パッキン付)(色)	20	―
	M4×10サラネジ (D＝6)(色)	7(1)	―
	予備ネジセット	1	1
雨樋セット	アタッチメント	2	2
雨樋セット	アタッチメントパッキン	2	2
雨樋セット	アタッチメントジョイナー	2	2
雨樋セット	エルボ	6	6
雨樋セット	丸型サドル	4	4
雨樋セット	サドル受け	4	4
雨樋セット	アタッチメント取付ネジ (φ4×12トラス)(生地)	4	4
雨樋セット	サドル取付ネジ (φ4×16トラス)(生地)	4	4
雨樋セット	接着剤	1	1

1.姿図および各部名称

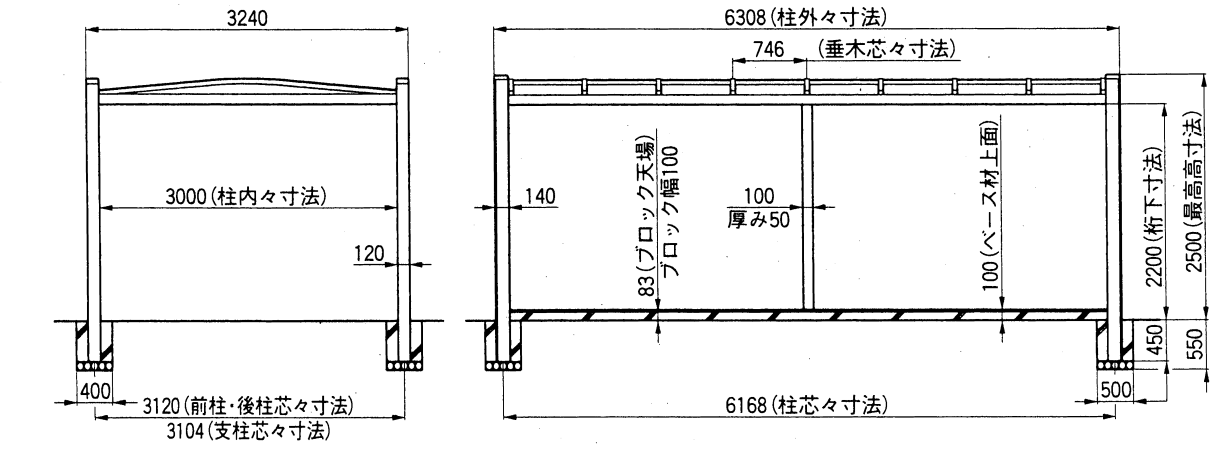
1-1 60型（ガレージタイプ）



1-2 52型(カーポートタイプ)

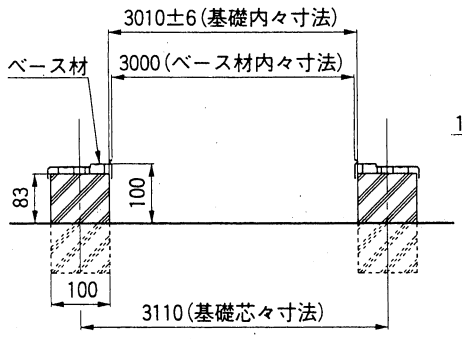


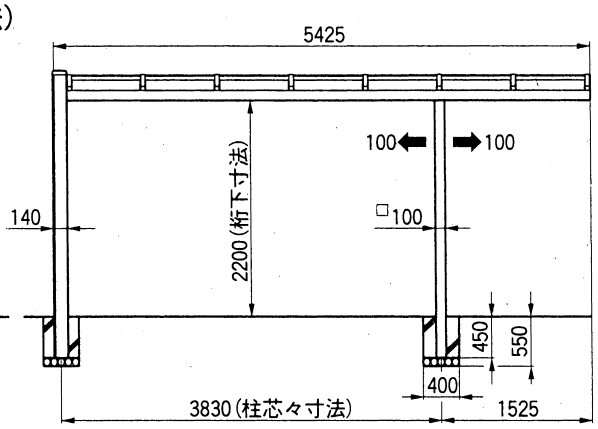
2.基本寸法



(正面寸法)

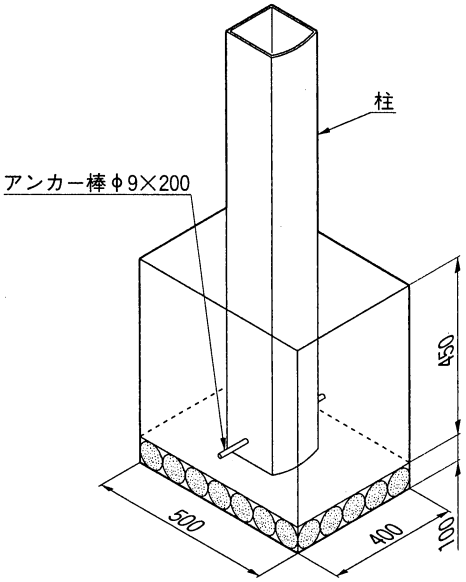
(60型側面寸法)

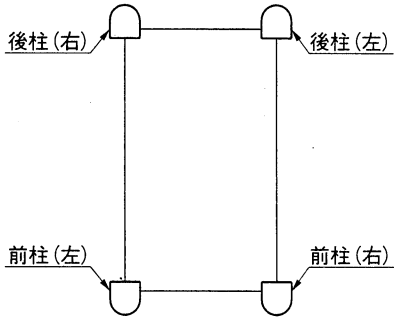




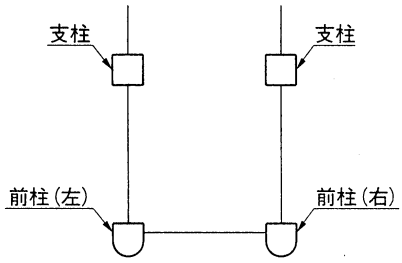
(52型側面寸法)

3.基礎施工





△正面
(60型)



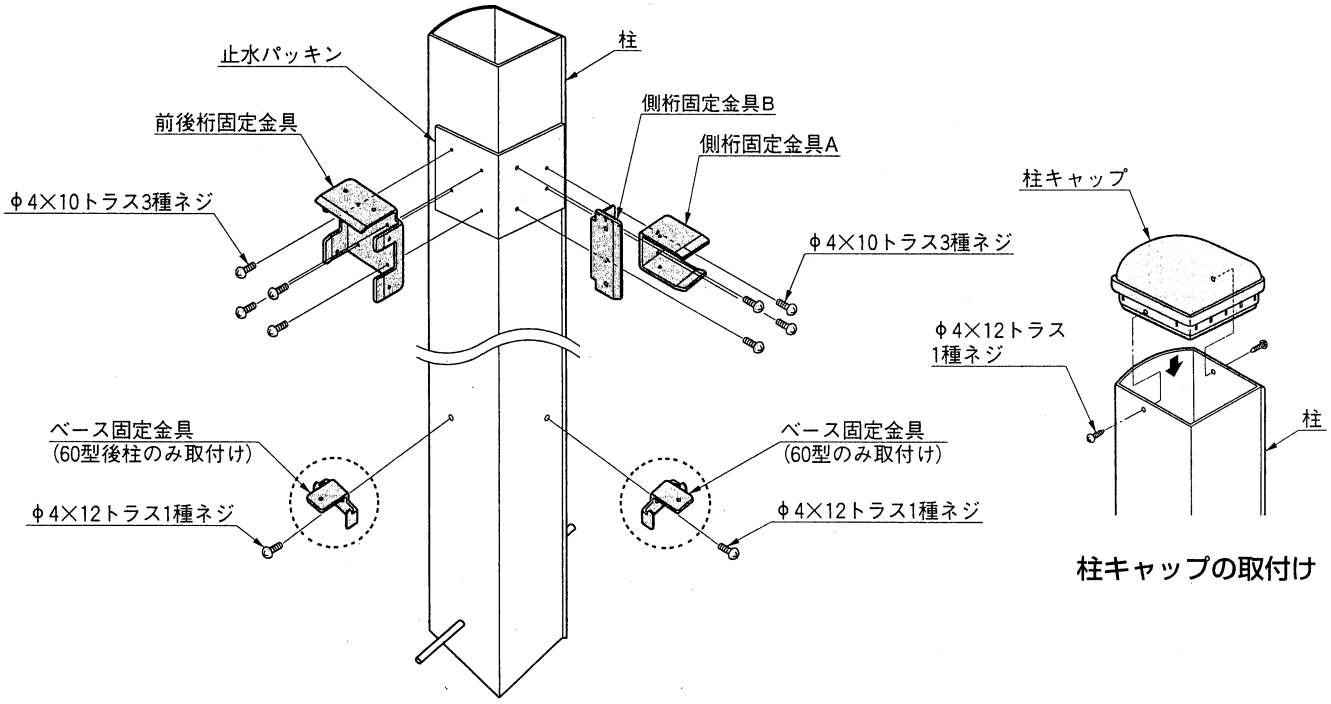
△正面
(52型)

❶ コンクリート施工は、骨組完了後に行ない、硬化後屋根材を組込んでください。
❷ アンカー棒(φ９×200)は必ず施工してください。
❸ 支柱の移動は、標準位置から±100㎜可能です。

<注 意>

- コンクリート施工は９項(Ｐ６)ベース材の一時取付けまで完了してから行なってください。また､52型の側桁(雨樋)には前方に30㎜位の水勾配をつけていただくことをおすすめします。

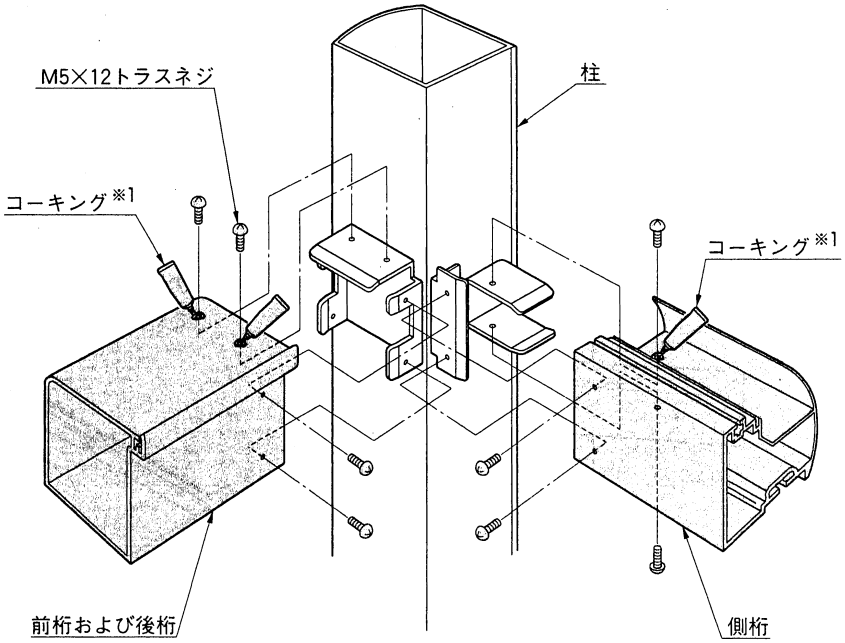
4.柱への部品の取付け



柱キャップの取付け

❶ 60型用前柱、52型用前柱および60型用後柱、それぞれ取付け内容が異なりますので、上図を確認の上、部品を取付けてください。
❷ 柱キャップをφ４×12トラス１種ネジで取付けてください。

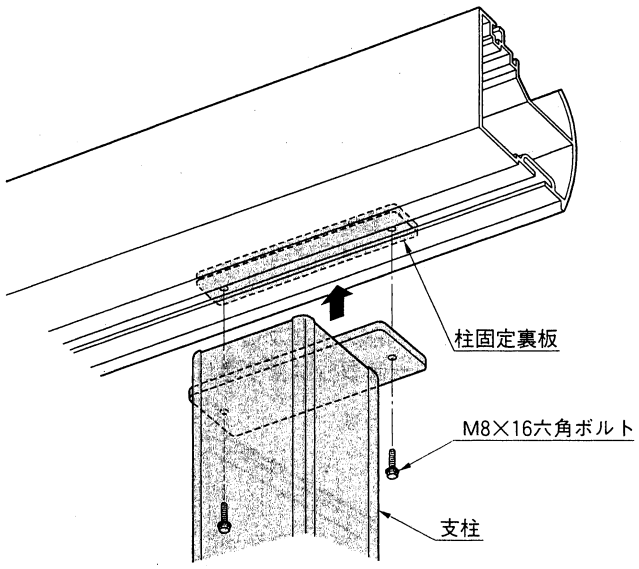
5.側桁、前後桁の取付け



❶ 柱に側桁および前桁,後桁を取付けてください。（M５×12トラスネジを使用してください。）
❷ ネジ頭にコーキングを施してください。（※１）

<注 意>
● 側桁は、雨樋加工のある方が正面となりますので注意してください。

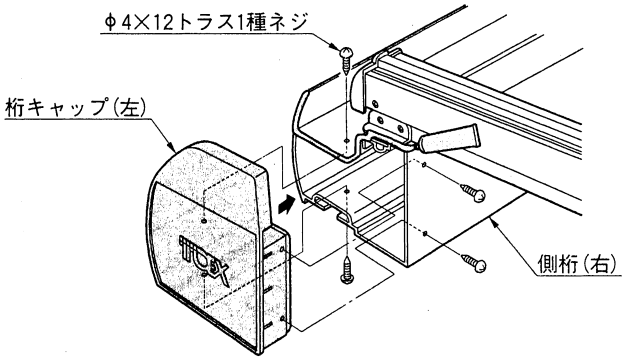
6.支柱の取付け(52型)



❶ M８×16六角ボルト(Wセムス)で側桁と支柱を固定してください。
(柱固定裏板は側桁に入れてありますのでスライドされて使用してください。)

<注 意>
● 「柱中心位置シール」の印に柱の中心を合わせてください。

7.桁キャップの取付け(52型)



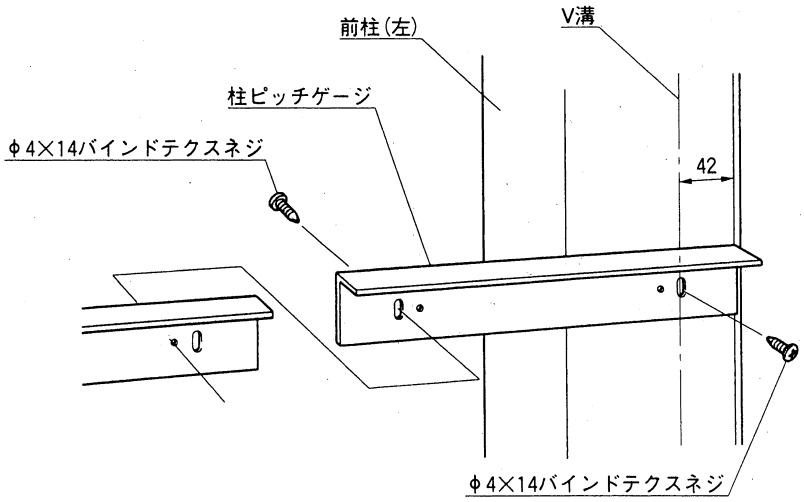
❶ 桁キャップをφ４×12トラス１種ネジで取付けてください。（４ヶ所）
❷ 取付け後、接合部およびネジ頭にすみずみまで十分にコーキングを施してください。

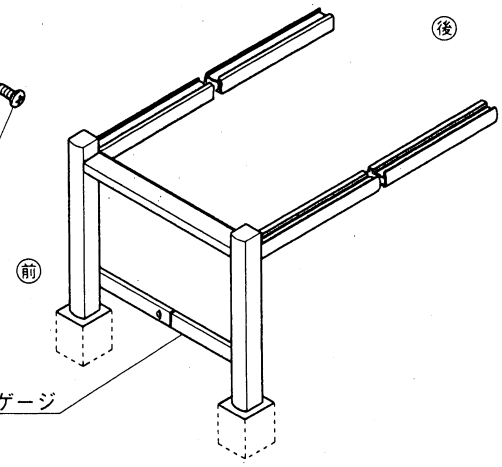
<注 意>
● コーキングが不十分ですと雨漏りの原因となりますので注意してください。

8.柱ピッチゲージの取付け

1 2本の柱ピッチゲージをジョイントし、前柱に取付けて下さい。
(取付け位置：GLより300位上)
(φ4×14バインドテクスネジを使用して下さい。)

<注意>
コンクリート施工後取り除きます。
その際あいたネジ孔は丸樋取付(P.11)の際サドル受け取付け孔に使用して下さい。





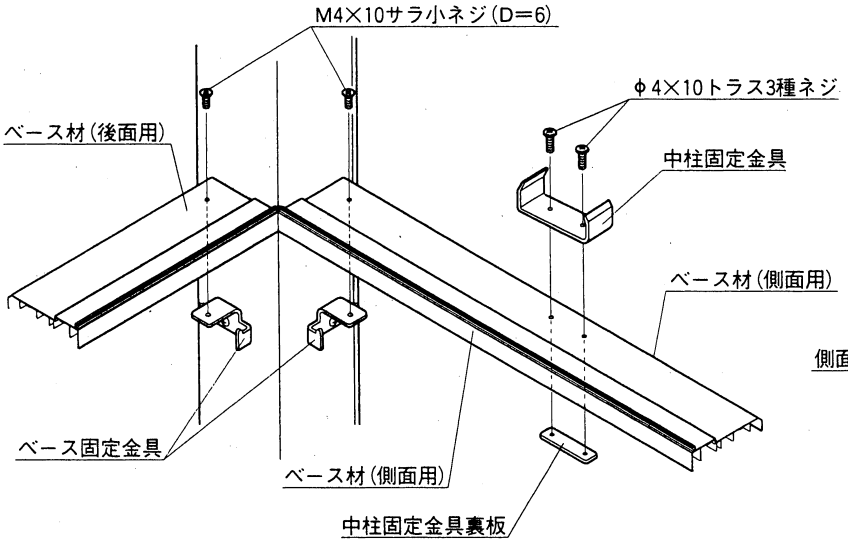
9.ベース材の一時取付け —60型—

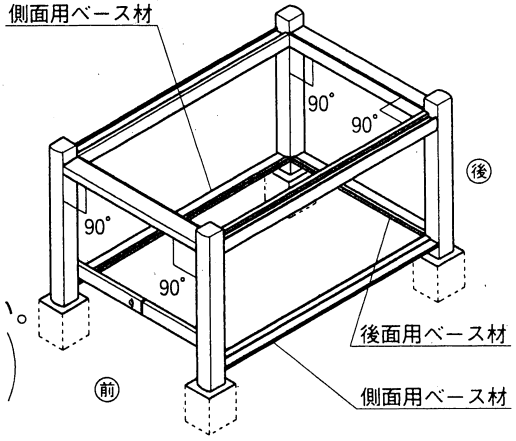
(1)後柱のピッチをだす為のベース材を仮取付け。

1 側面用ベース材(L＝6028)に中柱固定金具及び裏板を取付けてベース固定金具と連結して下さい。

2 後面用ベース材(L＝3000)を取付けて下さい。

<注意>
ベース下にブロックを施工する(P.10)一時取りはずす事になります。





<注意>
コンクリートが硬化する前に各角部の直角確認をして下さい。
(角度が大きくずれると、スライドパネル、ゲート等の動きに支障をきたす場合があります。)

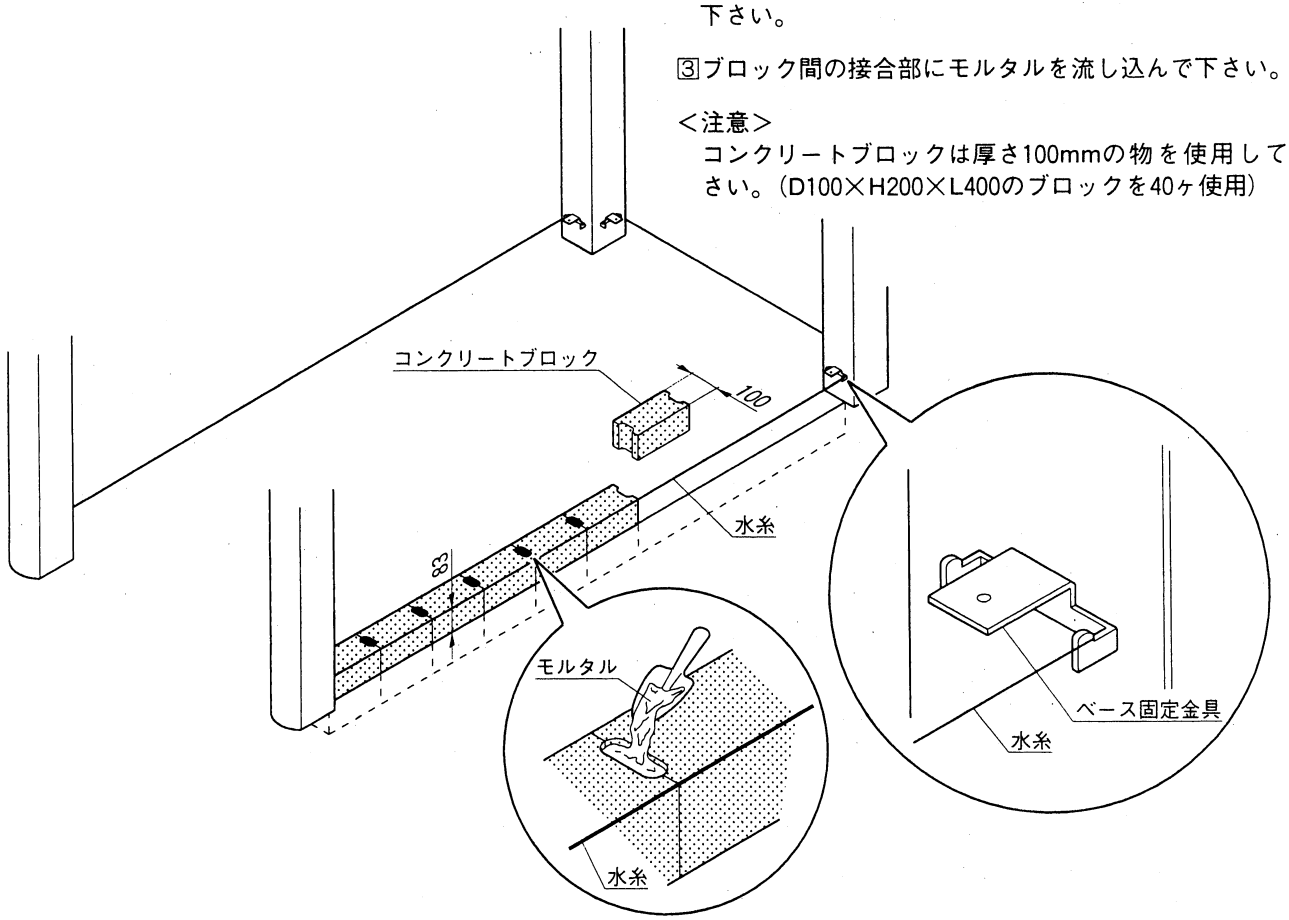
10.コンクリートブロックの施工 —60型—

1コンクリートが硬化した後、ベース材を取りはずし、ベース固定金具の爪を利用し水糸を張って下さい。

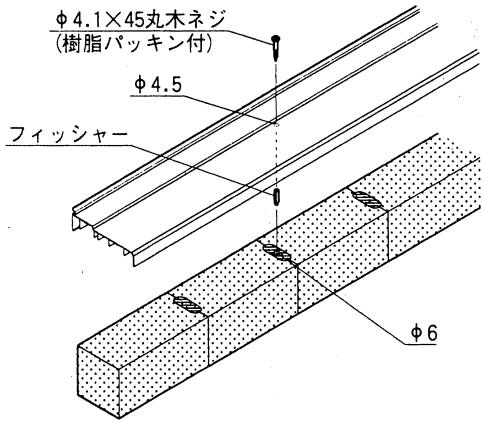
2ブロックの外角を水糸に合わせる様にモルタル固定して下さい。

3ブロック間の接合部にモルタルを流し込んで下さい。

<注意>
コンクリートブロックは厚さ100mmの物を使用して下さい。(D100×H200×L400のブロックを40ヶ使用)

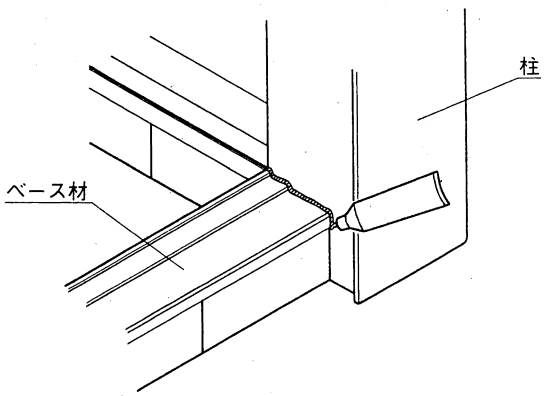


11.ベース材の取付け —60型—



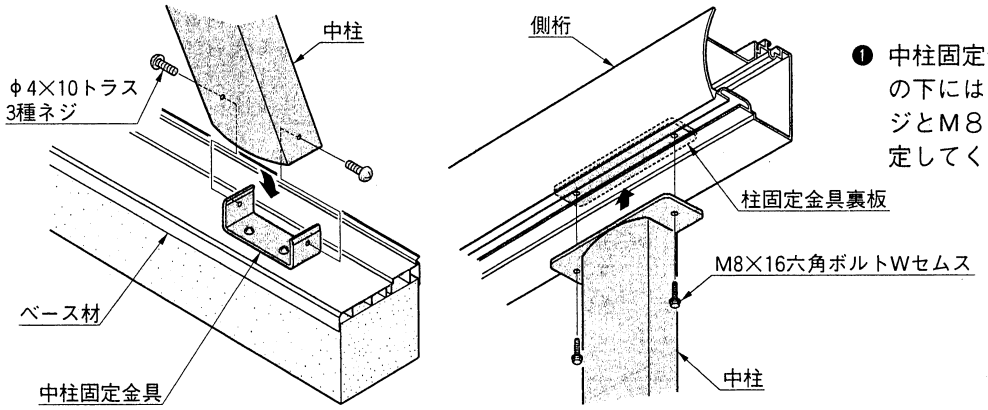
1ブロックの接合部の位置でベース材にφ4.5とブロックにφ6の孔をあけて下さい。
(孔数は側面8ヶ所、後面4ヶ所の全20ヶ所)

2ブロックの孔にフィッシャーを打ち込みベース材をφ4.1×45丸木ネジで固定して下さい。
(ベース固定金具部は6ページ同様ネジ止メして下さい。)



<注意>
柱とベース材のジョイント部分全てにコーキングを施して下さい。

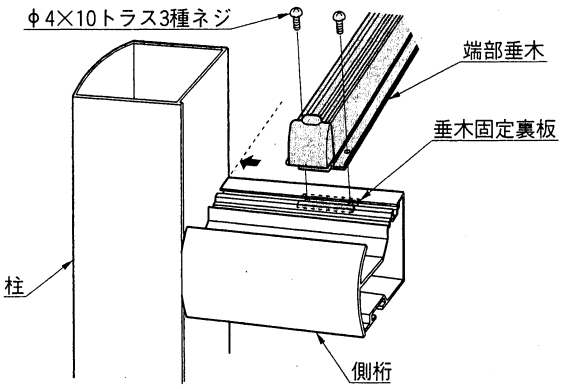
12.中柱の取付け(60型)



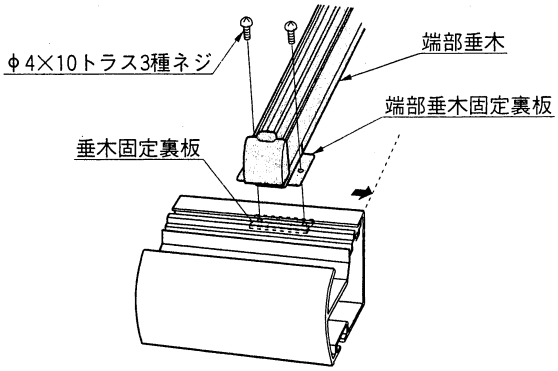
❶ 中柱固定金具に中柱を差込みながら側桁の下にはめ込み、φ４×10トラス３種ネジとＭ８×16六角ボルト(Wセムス)で固定してください。

13.端部垂木、中間垂木の取付け

13-1 端部垂木の取付け



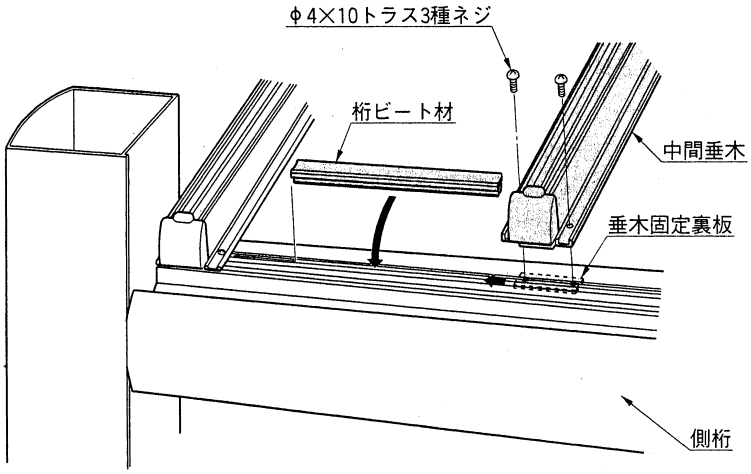
A図

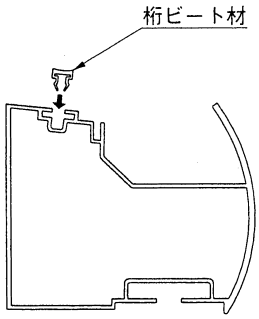


B図

❶ A図のように端部垂木を側桁に入れてある垂木固定裏板をスライドさせて、柱に突き当てになるように取付けてください。
❷ B図のように52型の後端部垂木の取付けは、端部垂木固定金具と側桁の面が合うように取付けてください。
(φ４×10トラス３種ネジを使用してください。)

13-2 中間垂木の取付け

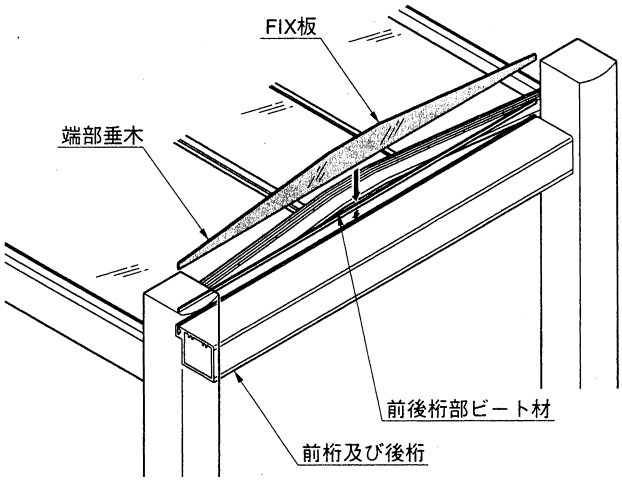




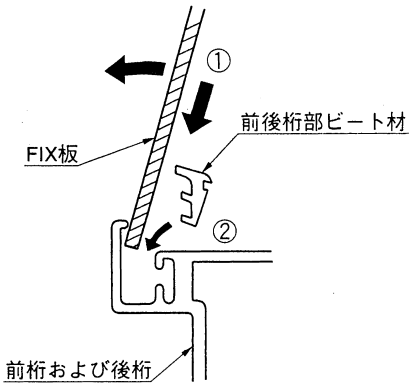
❶ 側桁上面の溝に桁ビート材をはめ込みながら各垂木を取付けてください。

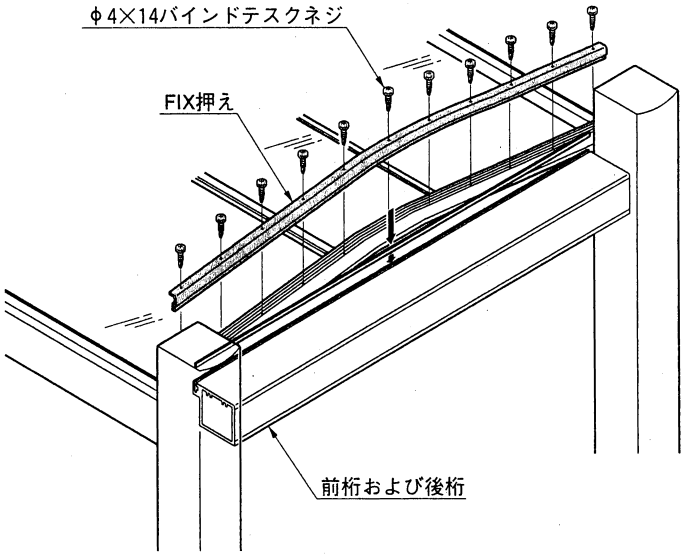
14.FIX板の取付け(アクリル)

※FIX板には養成シートが貼ってありますので
必ずはがしたのちに施工してください。

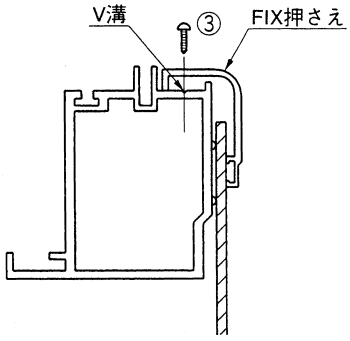


❶ FIX板を前桁,後桁部溝にはめ、前後桁部ビート材を柱間に差込んでください。

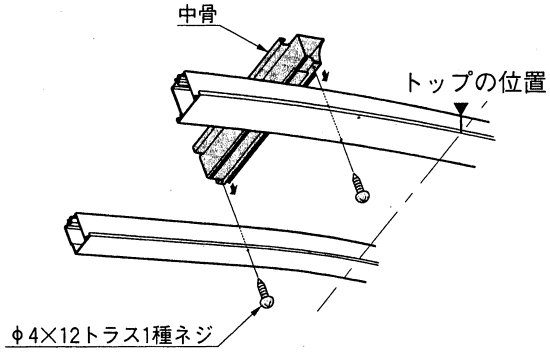


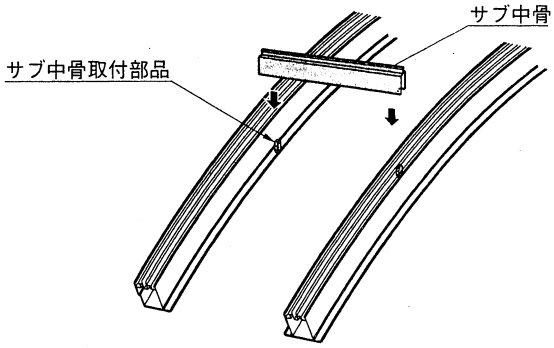


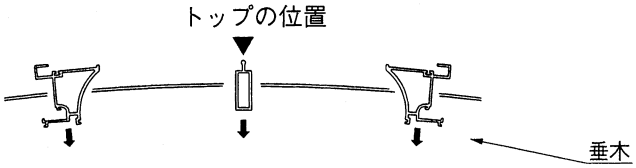
❷ FIX押さえをのせ、φ4×14バインドテクスネジで端部垂木のV溝の位置で固定してください。



15.中骨、サブ中骨の取付け





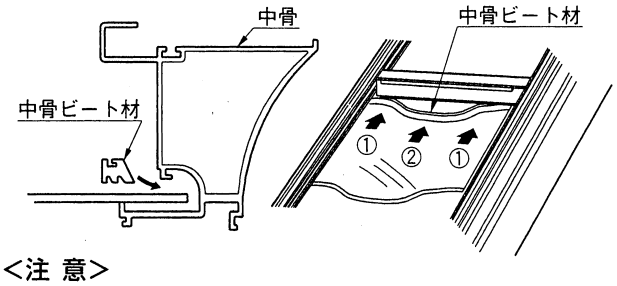


❶ 中骨をφ4×12トラス1種ネジで取付けてください。
❷ サブ中骨を取付部品にはめ込んでください。

16.屋根材Bの取付け(アルミ複合板)

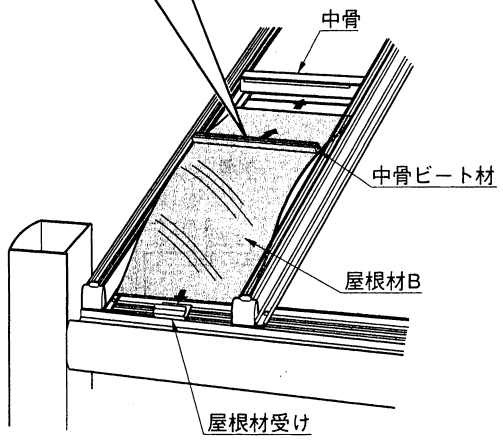
※屋根材には養成シートが貼ってありますので、必ずはがしたのちに施工してください。

16-1 屋根材のはめ込み



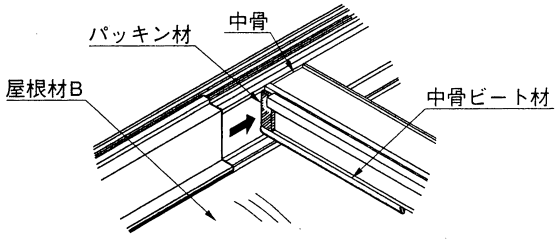
<注 意>

- 中骨ビート材は絶対切断せず、両端より差込むようにしてください。



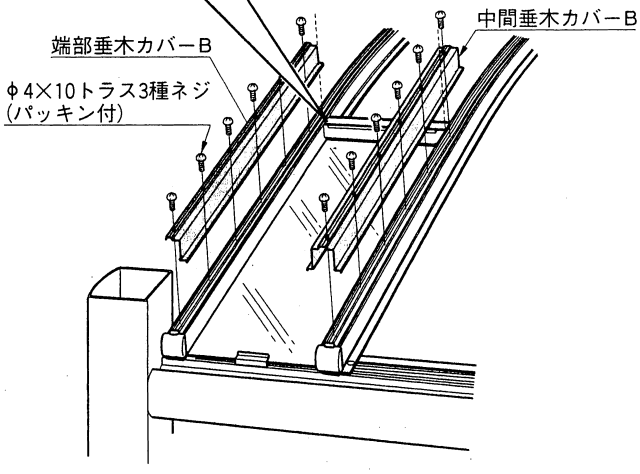
❶ 屋根材Bを中骨の溝と屋根材受けに差込んでください。
❷ 中骨の溝と屋根材とのすき間に中骨部ビート材を差込んでください。

16-2 垂木カバーBの取付け



<注 意>

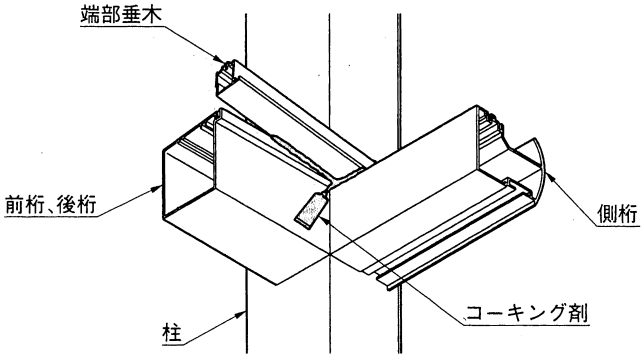
- 中骨に付いているゴムパッキンと中骨ビート材を押しつけるようにカバーを取付けてください。



❶ 垂木カバーBをφ4×10トラス3種ネジ(パッキン付)で取付けてください。

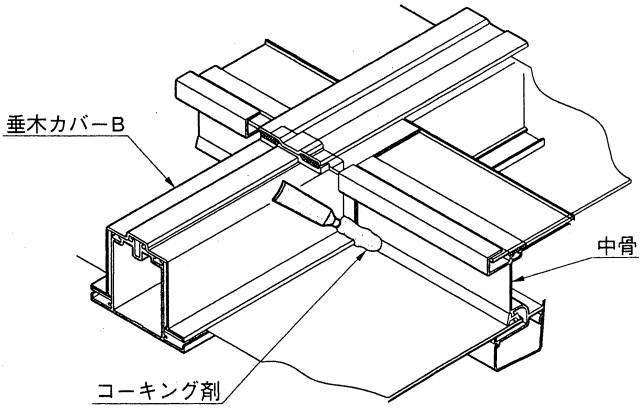
17.雨漏注意箇所のコーキング

17-1 桁ー端部垂木部のコーキング



❶ 端部垂木下面部には、必ずコーキング剤を施してください。

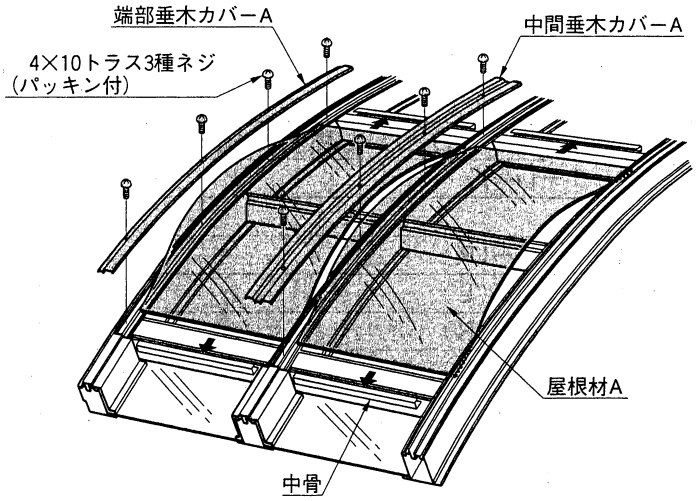
17-2 屋根部のコーキング



❶ 中骨の垂木カバーの突き当て部に必ずコーキング剤を施してください。

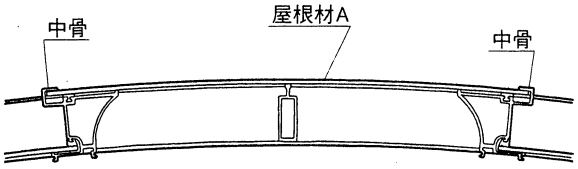
18.屋根材Aの取付け(アクリル)

※屋根材には養成シートが貼ってありますので、
必ずはがしたのちに施工してください。

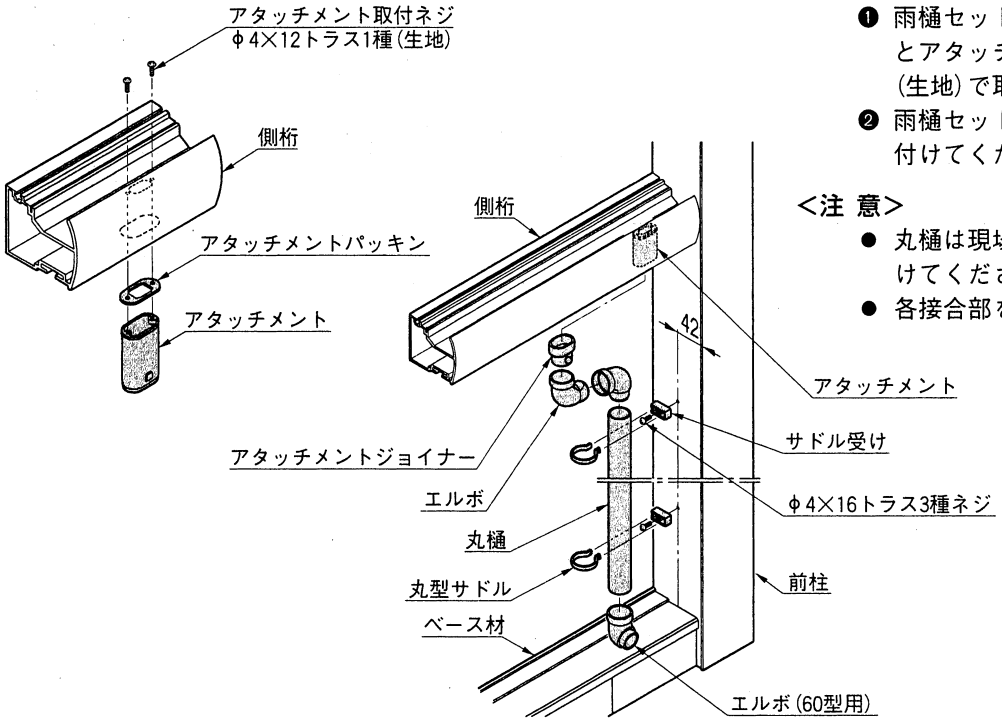


❶ 屋根材Aを中骨の差込み口にはめ込んでください。

❷ 左右均等に差込まれている事を確認の後、垂木カバーAをφ4×10トラス3種ネジ(パッキン付)で取付けてください。



19.雨樋セットの取付け



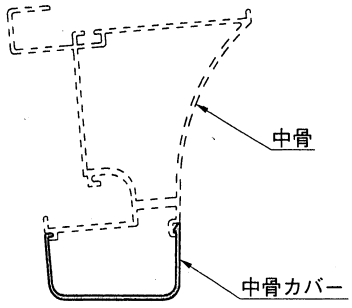
❶ 雨樋セット内のアタッチメントパッキンとアタッチメントをφ4×12トラス1種(生地)で取付けてください。

❷ 雨樋セット内の他の部品を図のように取付けてください。

<注 意>

- 丸樋は現場寸法に合わせて切断し、取付けてください。
- 各接合部を接着剤で固定してください。

20.中骨カバーの取付け



- 中骨カバー：L＝6004(60型)5258(52型)
2本はP23「14.配線の仕方」で配線カバーとして取付けます。

― レガージュゲート ―

■梱包明細書

●中間パネルセット

名　　称	員 数
中間パネル	3

●引手・端部パネルセット

名　　称	員 数
引手パネル	1
端部パネル	1

●バランサー・レールセット

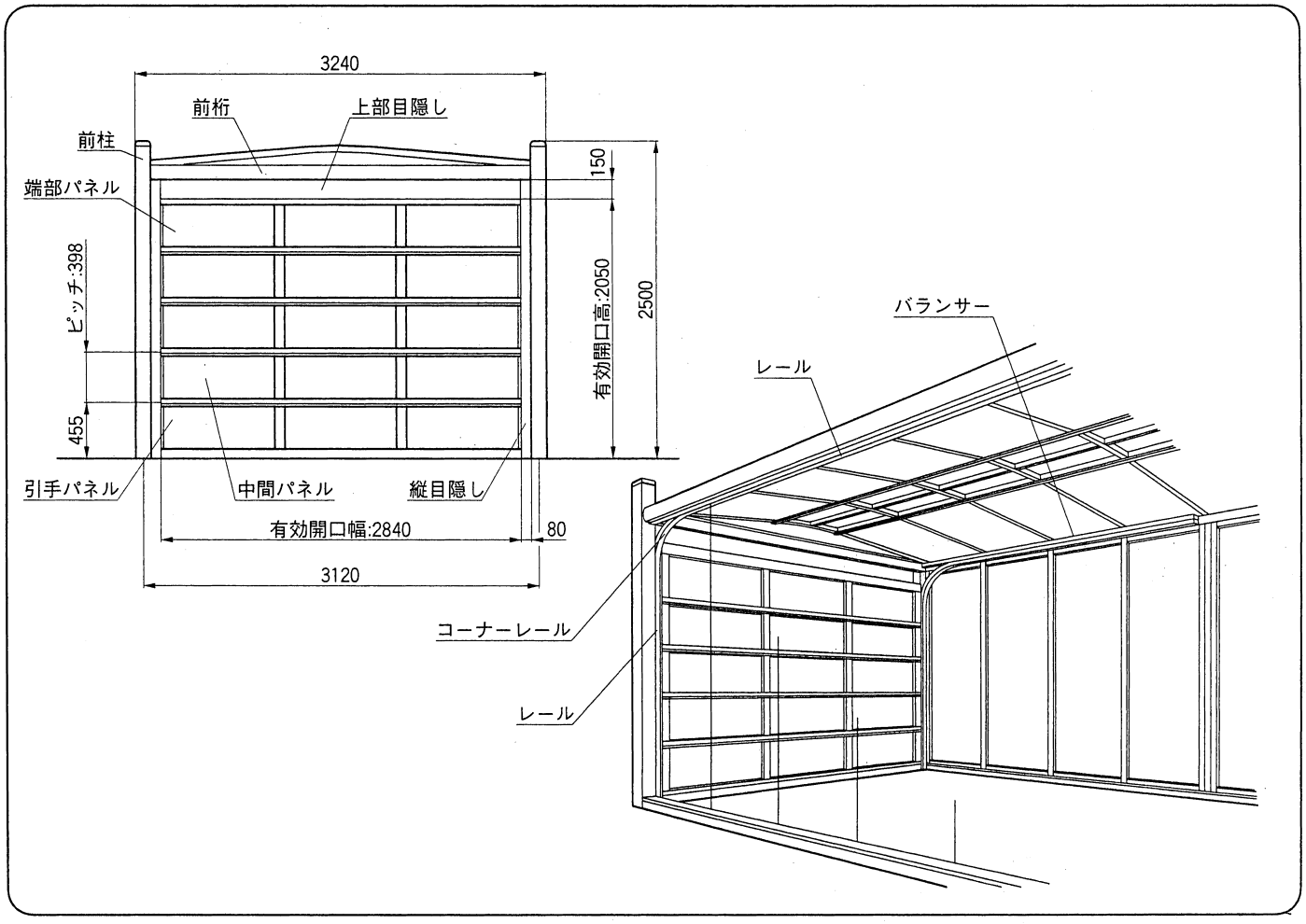
名　　称	員 数
バランサー(R)	1
バランサー(L)	1
レール	4

●コーナーレール・部品セット

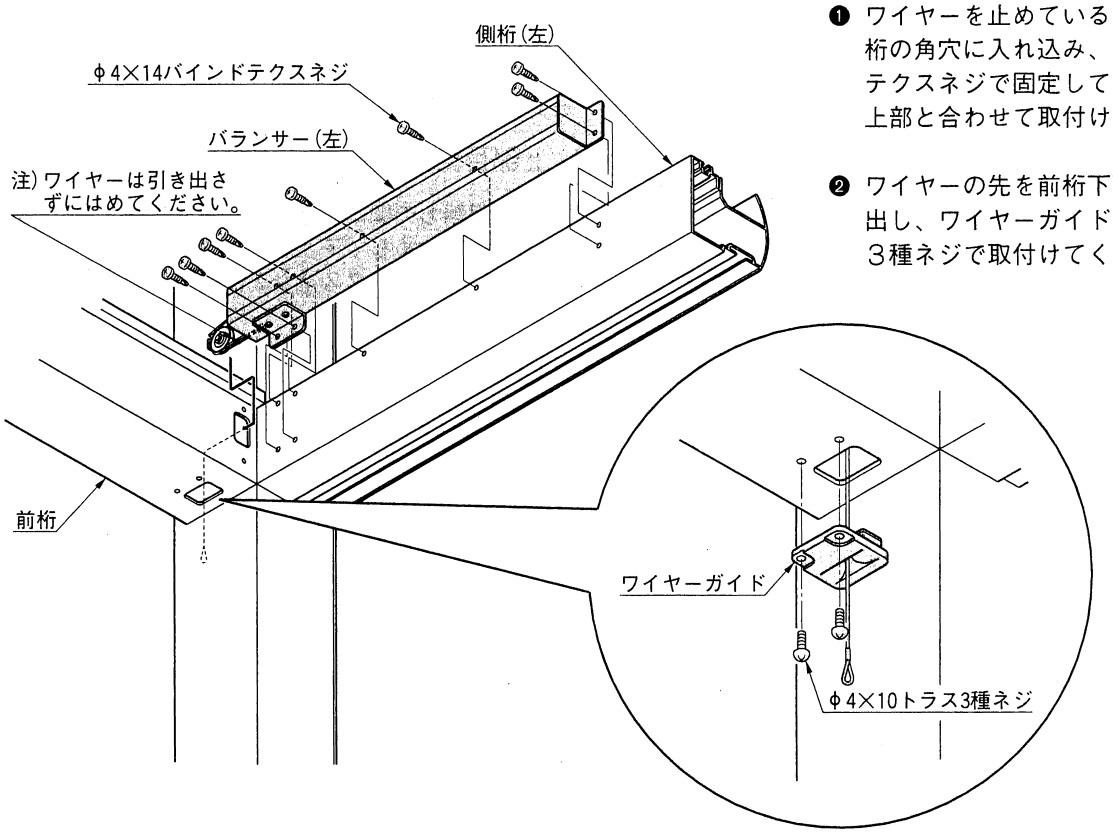
名　　称	員 数
コーナーレール	2
ローラー	10
端部ローラー(R)	1
端部ローラー(L)	1
ハッカー金具(R)	1
ハッカー金具(L)	1
ハッカーピン	2
ハッカーピン組付ナット	2
レール連結金具	4
レールエンドキャップ	2
ワイヤーガイド	2
パネル先端ビート材 L=2890	1
φ4×10トラス3種ネジ (D=8)(色)	46(2)
φ4×12トラス1種ネジ (D=8)(色)	2
M4×8サラネジ (D=6)(色)	18(2)
M5×10サラネジ (色)	4
φ4×14バインドテクスネジ (色)	46(2)

( )は、予備ネジの数

1.姿図及び基本寸法



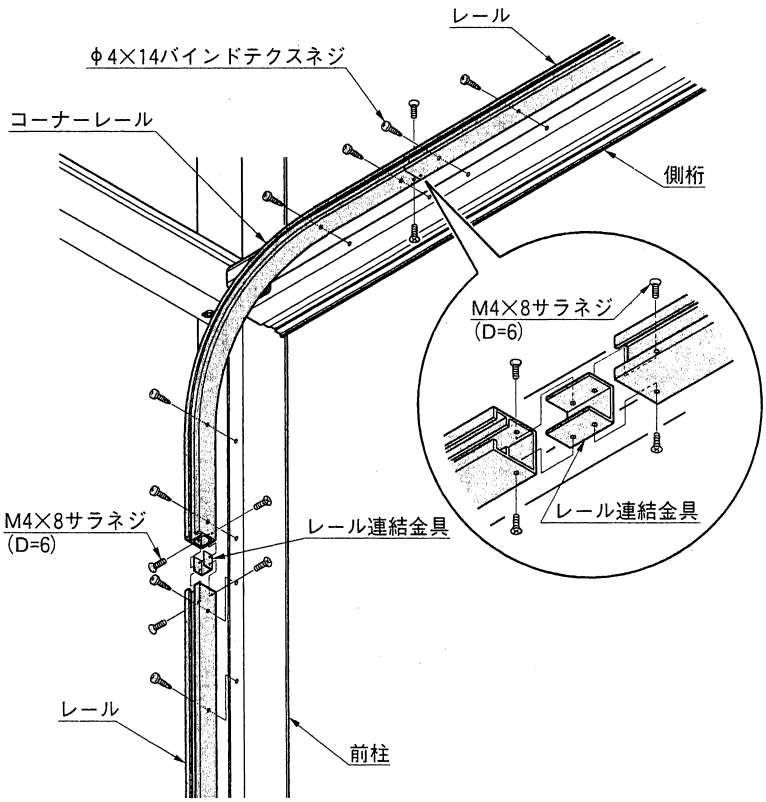
2.バランサーの取付け



❶ ワイヤーを止めているテープをはがし前桁の角穴に入れ込み、φ4×14バインドテクスネジで固定してください。(側桁の上部と合わせて取付けてください。)

❷ ワイヤーの先を前桁下面の角穴から引き出し、ワイヤーガイドをφ4×10トラス3種ネジで取付けてください。

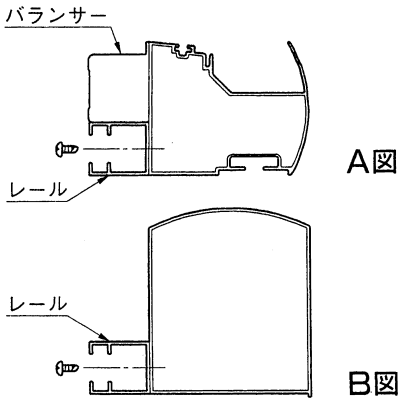
3.レールの取付け



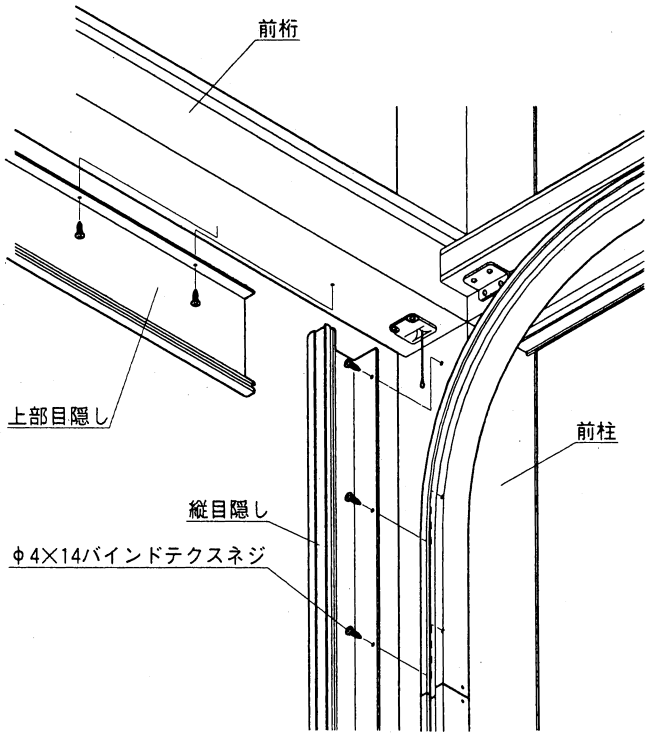
❶ 桁部のレールとコーナーレールを、レール連結金具で連結してください。
(M4×8サラネジ(D=6)を使用してください。)

❷ 連結したレールをA図のように桁部へ、またB図のように柱部へφ4×14バインドテクスネジで取付けてください。
(V溝合わせ)

❸ B図のようにレール連結金具を使い、柱部のレールを取付けてください。



4.目隠しの取付け

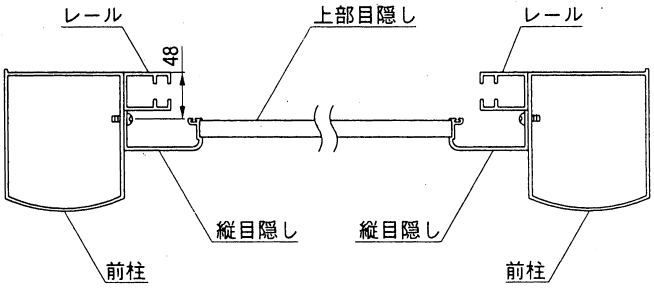


（1）縦目隠しの取付け

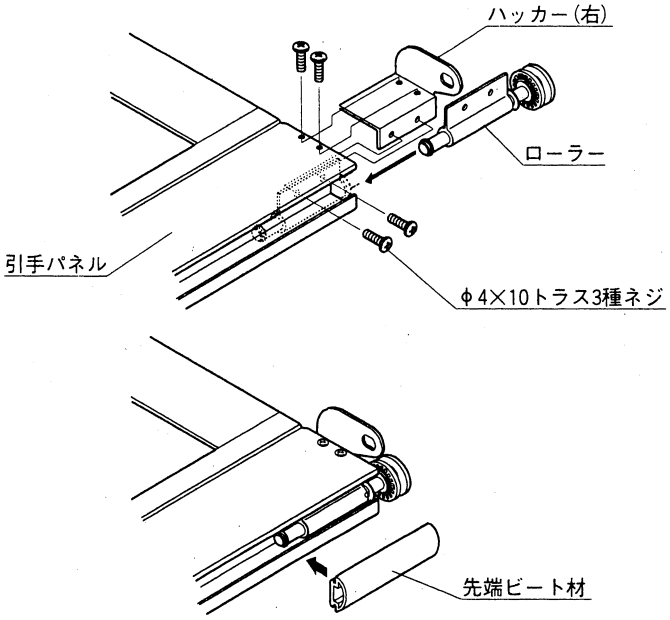
1柱の内面へ縦目隠しを取付けて下さい。
（センターのV溝）

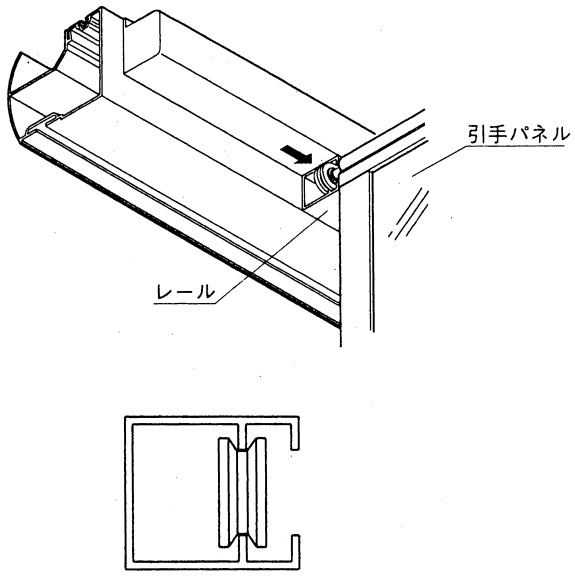
（2）上部目隠しの取付け

2左右の縦目隠しの間にはめ込みながら前桁下面の下孔に合わせてネジ止めして下さい。
●φ4×14バインドテクスネジを使用して下さい。



5.引手パネルの取付け





（1）引手パネルへの部品取付け

1引手パネルにローラーとハッカーをφ4×10トラス3種ネジで取付けて下さい。

2先端ビート材を入れて下さい。

（2）パネルの吊り込み

1上図の様にパネルを吊り込んで下さい。

6.中間パネル、端部パネルの取付け

重要

●パネルのスライド(落下)防止の為、中間パネルを1枚連結した後、直にワイヤーを左図の様にひっかけて下さい。

ハッカーピン組付ナット　ワイヤー

ハッカーピン

桁部レール

ローラー

(図－1)

パネル

φ4×10トラス3種ネジ

リンク材

(図－2)

前方パネル

(1)パネルの吊り込み

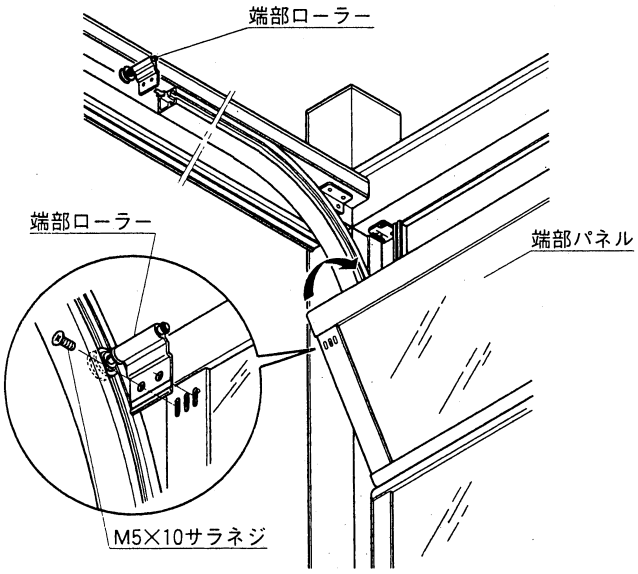
1 図－1の様にパネルにローラーを差し込みレールに吊り込んで下さい。

(2)前方パネルとの連結

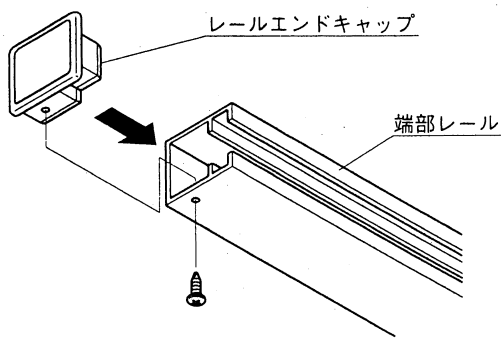
2 図－2の様に前方のパネルを持ち上げリンク材とネジ固定して下さい。
(φ4×10トラス3種ネジ)

7.端部ローラの取付け

1 5枚のパネルの連結が終わったら正面にパネルを全部下し、端部ローラーをコーナーレールのところで端部パネルに取付けて下さい。(M5×10サラネジ)
端部パネルが上部目隠しのゴムに当たる様に調整して固定して下さい。



8.レールエンドキャップの取付け



1 レールエンドキャップをφ4×12トラス1種ネジで取付けて下さい。

ー電動装置ー

■梱包明細書

①電動セット

名称		員数
電動装置本体		1
トロリーアーム		1
ライトカバー		1
配線端子カバー		1
アイセンサーセット	アイセンサー EMITTER(発信器)	1
	アイセンサー RECEIVER(受信器)	1
	レール先端組付金具A	1
	アイセンサー取付金具(1)	2
	アイセンサー取付金具(2)	2
	丸頭角根ボルト	4
	フランジナット	4
	カップ・ウォッシャー	2
	ウィングナット	2

②送受信器セット

名称	員数
送信器(取扱説明書、電池入り)	2
受信器	1
アンテナ	1
アンテナ取付台	1
アンテナケーブル	1
ケーブルチューブ(1M)	1
グロメット	2
受信器・電動本体連結用ハーネス	2
100V電源用ハーネス	1
φ4×14バインドテクスネジ	4
φ3.5×20丸木ネジ	2

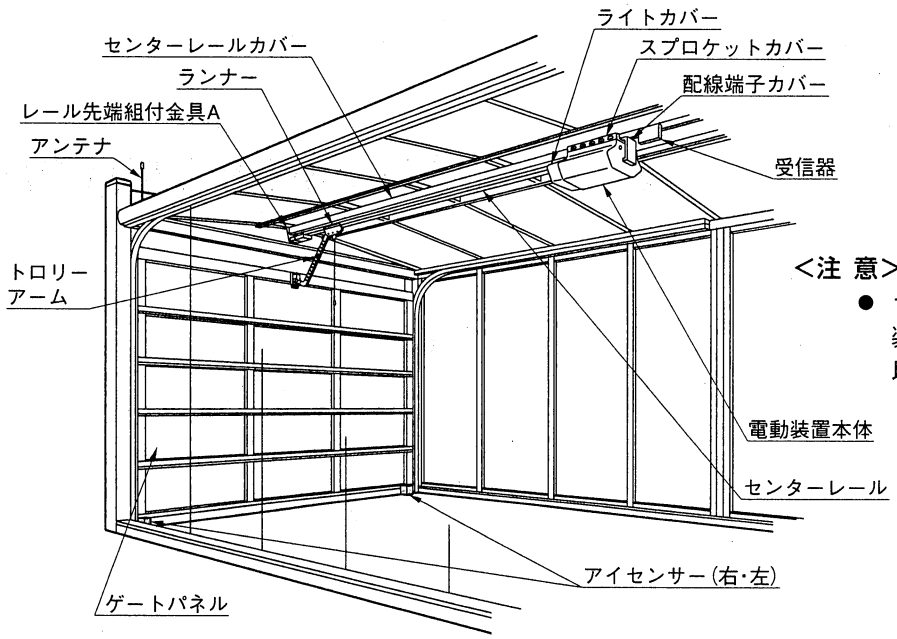
③センターレールカバーセット

名称		員数
センターレールカバー		1
ケーブルカバー		6
電動装置取付金具	(生地)	1
レール先端組付金具B	(色)	1
ゲート連結金具	(色)	1
φ4×14バインドテクスネジ	(色)	68
M8×18六角ボルト	(生地)(Wセムス)	4
M8×25六角ボルト	(生地)	1
M6×16六角ボルト	(生地)(Wセムス)	2
M8×75六角ボルト	(生地)	3
M8六角袋ナット	(色)	2
M6六角袋ナット	(色)	1
M8ナイロンナット	(生地)	4
M4×10サラネジ	(生地)	4

④押しボタンスイッチ オプション

名称		員数
押しボタンスイッチ		1
Y型圧着端子		2
φ4×30トラスネジ	(生地)(樹脂パッキン付)	2
取付説明書		1
取扱説明書		1

1.姿図および各部名称

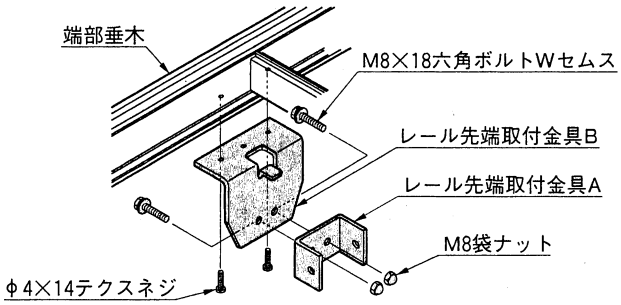


<注 意>

- ライトの電球は搬送中の破損を防ぐため装着されておませんので、2ヶ所で80W以下の電球を購入して取付けてください。

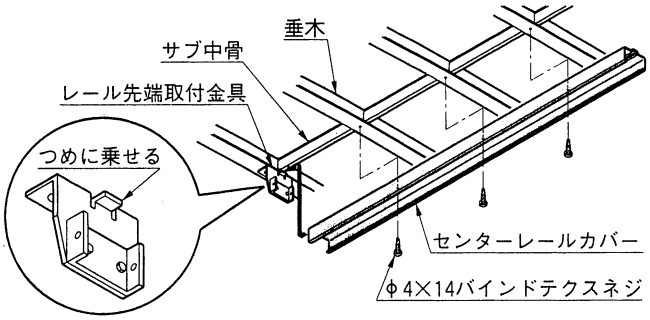
2.センターレールカバーの取付け

2-1 レール先端取付金具の取付け



❶ レール先端取付金具ＡとＢをＭ８×18六角ボルトで組付け、妻垂木下面の中央部にφ４×14テクスネジで取付けてください。

2-2 センターレールカバーの取付け



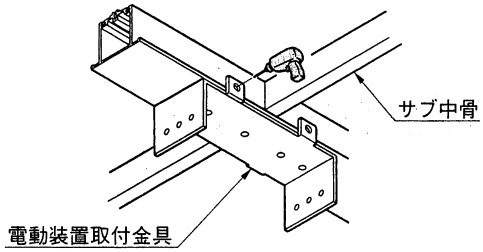
❶ センターレールカバーをレール先端取付金具のつめに引っ掛けて、垂木下面へサブ中骨の位置に合わせてφ４×14バインドテクスネジで取付けてください。

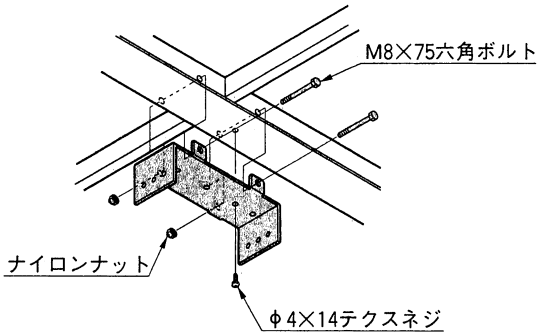
<注 意>

● センターレールカバーには前後があります。取付孔が垂木に合う向きで取付けてください。

3.電動装置本体の取付けとチェーンの調整方法

3-1 電動装置取付金具の取付け

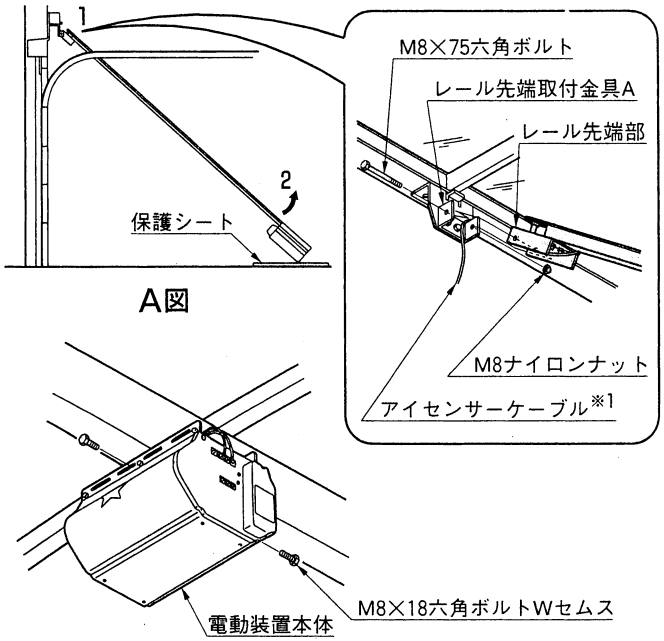




❶ 電動装置取付金具を端部垂木を含め５本目の垂木中央部へあてがい、孔位置の印を４ヶ所つけた後、φ９の孔をあけてください。

❷ 電動装置取付金具をＭ８×75六角ボルトとφ４×14テクスネジで取付けてください。
（ナイロンナットのナイロン部より、ボルト先端が少し出るまで締めてください。）

3-2 電動セットの取付け



❶ Ａ図のように保護シート（ダンボール等）に電動装置本体を乗せ、レール先端部をレール先端取付金具Ａの中にはめ込み、Ｍ８×75六角ボルトで固定してください。

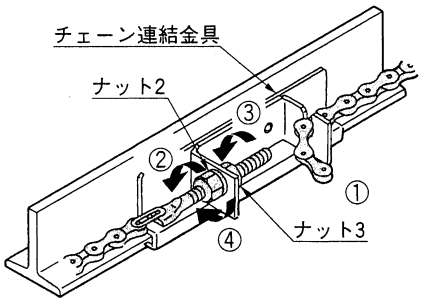
<注 意>

● アイセンサーケーブルは六角ボルトの上になるように配線してください。（※１）

❷ 電動装置本体を持ち上げて、電動装置取付金具へＭ８×18六角ボルトで固定してください。

3.つづき

3-3 チェーンの調整方法



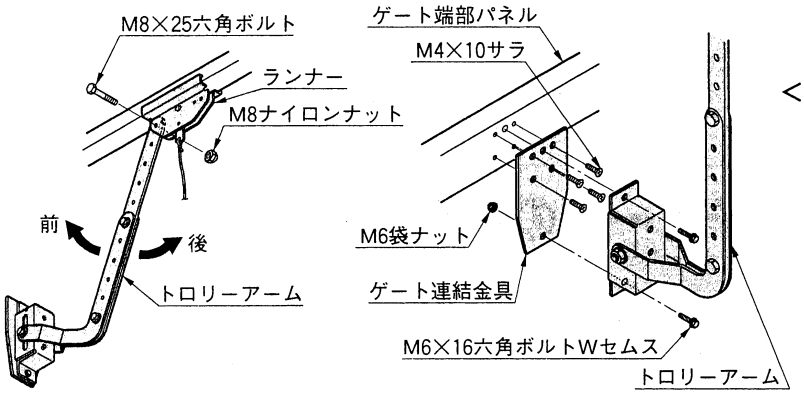
❶ ナット2をゆるめ(②)、ナット3を締め込み(③)チェーンを十分に張ってください。(チェーン中央部にたるみがないようにしてください。)

❷ ナット2を締め込み(④)チェーンを固定してください。

<注 意>

- チェーンにねじれがないように注意してください。

4.トロリーアームの取付け



❶ トロリーアームをランナーに差込み、M8×25六角ボルトで取付けてください。

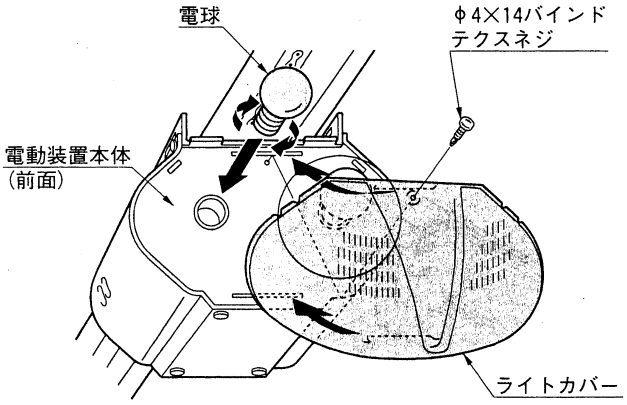
<注 意>

- 締め過ぎないように注意してください。
- アームが前後に動くか確認してください。

❷ ゲート端部パネルの最上部へ、ゲート連結金具をM4×10サラネジ(4ヶ所)で取付けてください。

❸ トロリーアーム先端をゲート連結金具へM6×16六角ボルトで取付けてください。

5.電球の取付け



※ ライトはリモコン作動後、数分間点灯し自動的に消灯します。

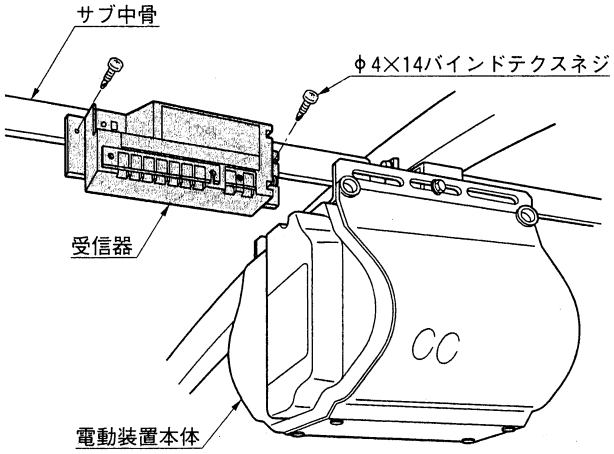
❶ 電動装置本体前面に電球を取付けてください。

<注 意>

- 2ヶ所で80Wを越えないようにしてください。
- 電球は別途購入して取付けてください。

❷ ライトカバーを溝にはめ込み、φ4×14バインドテクスネジで取付けてください。

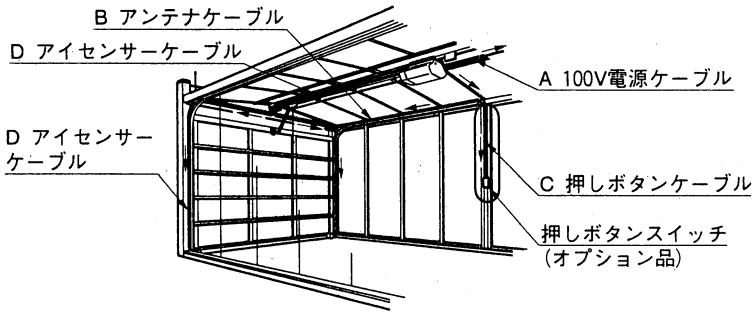
6.受信器の取付け



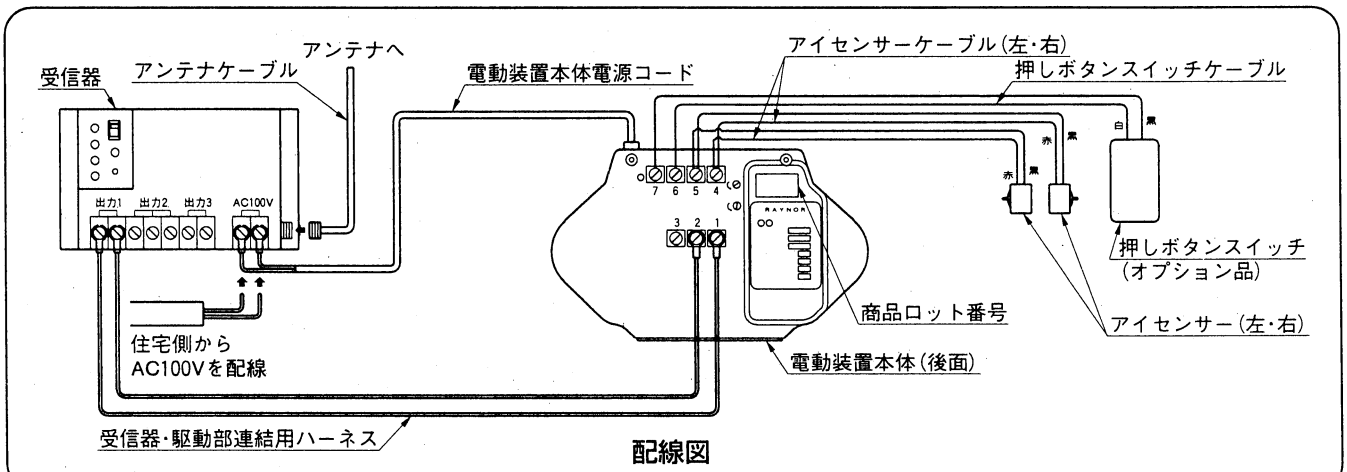
❶ 電動装置本体後方のサブ中骨に受信器を取付けてください。(向かって右側のネジを先に取付け、そのネジに受信器を引っ掛け、左側のネジを取付けると簡単にできます。)

7.ケーブルの配線方法

7-1 ケーブルの種類

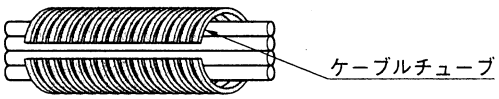


- A 100V電源ケーブル(現場手配)
- B アンテナケーブル
- C 押しボタンスイッチケーブル
- D アイセンサーケーブル(左右)



配線図

7-2 各ケーブルの接続方法

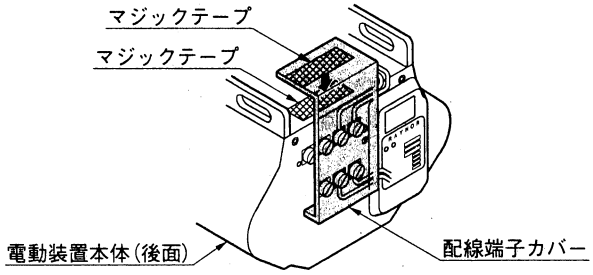


❶ 住宅側から配線のAC100Vを、受信器のAC100Vへ配線してください。
❷ 電動装置本体電源コードを受信器のAC100Vへ配線してください。
❸ 受信器・駆動部連結用ハーネスにて、受信器出力1と電動本体後面の1,2番端子を接続してください。
❹ アンテナケーブルを受信器アンテナジャックに接続してください。
❺ ケーブルの保護用に、ケーブルカバー(アルミ形材)とケーブルチューブ(左図参照)を用意しています。必要に応じてお使いください。

<注 意>

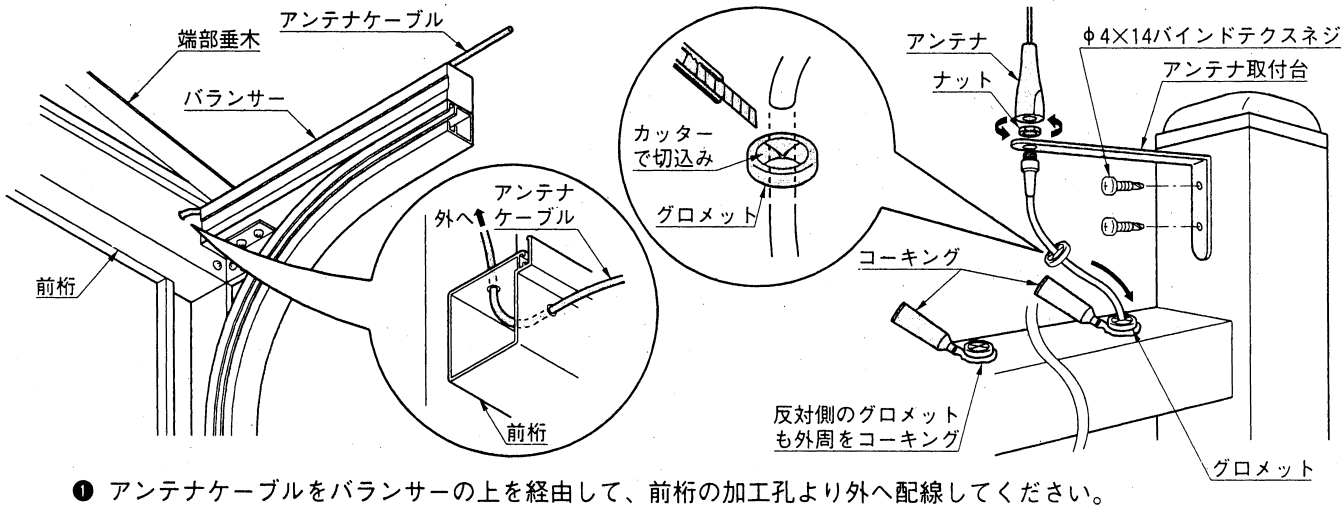
- 押しボタンスイッチ(オプション品)の取付け方法は、別紙「押しボタンスイッチ」の取付説明書(D308)をご覧ください。

7-3 (電動装置後面部の)配線端子カバーの取付け



❶ 電動装置本体(後面)の端子部へ配線端子カバーを取付けてください。

8.アンテナの取付け



❶ アンテナケーブルをバランサーの上を経由して、前桁の加工孔より外へ配線してください。
❷ グロメットの中央をカッターで×の字に切込みを入れ、アンテナケーブルを通してください。
❸ アンテナ取付台を前柱に取付け、アンテナケーブルとアンテナをしっかり固定してください。
❹ グロメットを前桁孔にはめ込み(左右２ヶ所)、切込み部と外周へは十分コーキングを施してください。

<注 意>

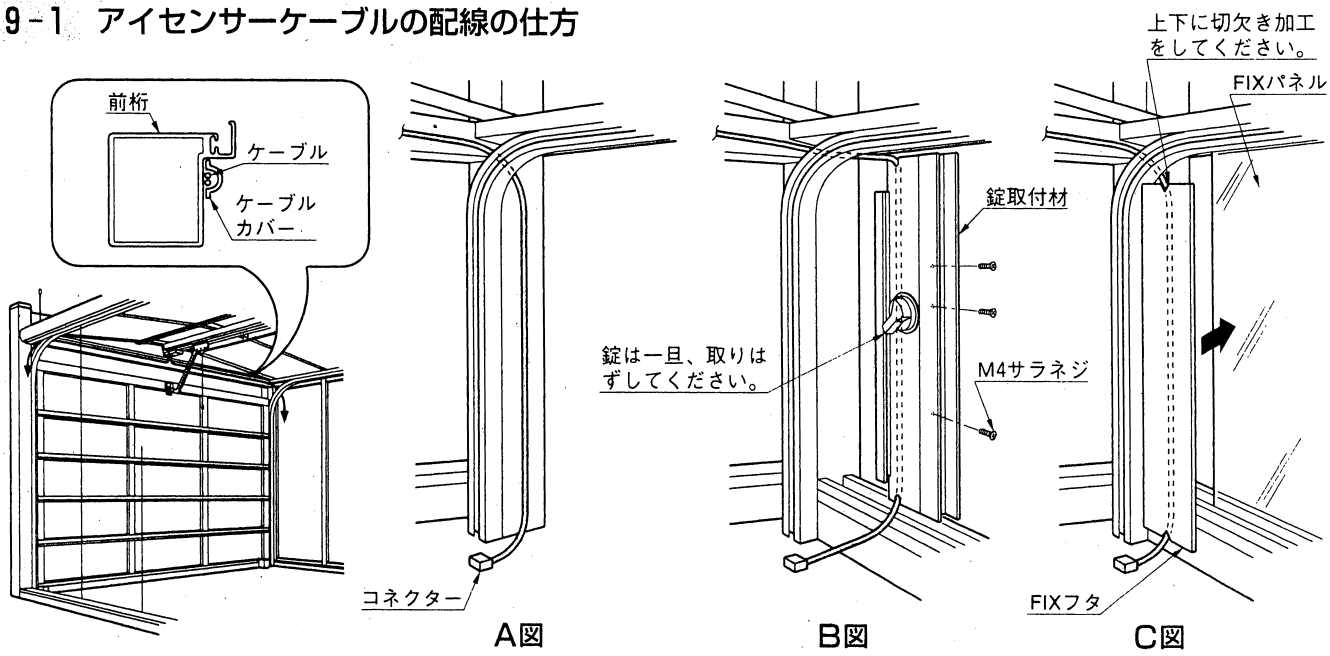
● コーキング箇所は左右２ヶ所ありますので両方行なってください。

9.アイセンサーの取付け ※アイセンサーを正常に取付けないと電動は作動しません。

※赤外線ビームで障害物を感知します。

〔● 閉口時に障害物を感知すると・・・・・一旦止まって全開します
● 開口時に障害物を感知すると・・・・・そのまま全開します〕

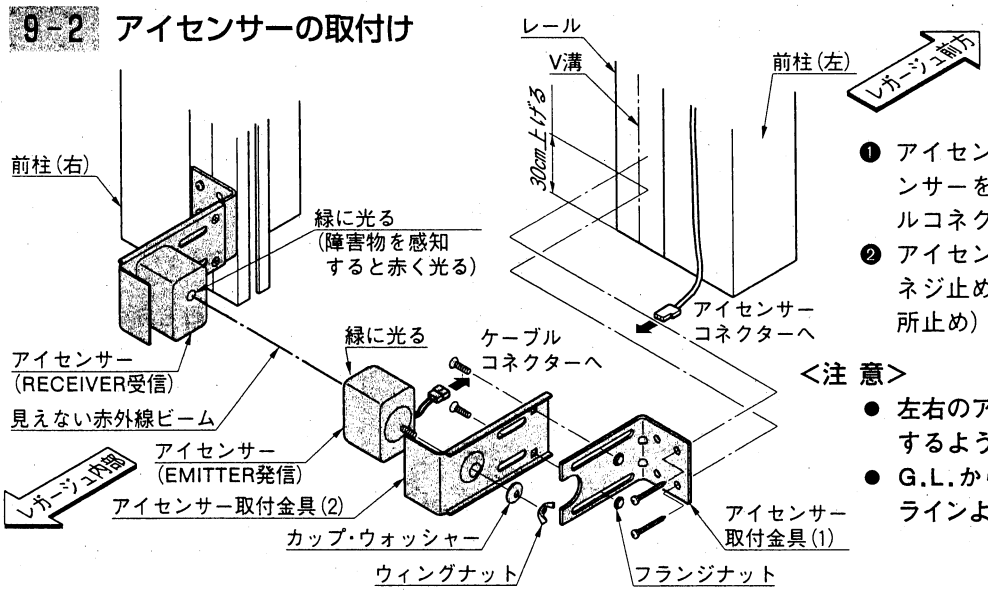
9-1 アイセンサーケーブルの配線の仕方



❶ アイセンサーケーブルを左右へ配線し、コーナーレールの上側へ通してください。(ケーブルカバーを必要な長さに切断して、ケーブルを保護してください。ネジはφ４×14バインドテクスネジをお使いください。)
❷ カーポートタイプの場合は、A図のように柱に沿って配線してください。
❸ スライディングパネル面では、B図のように錠取付材の錠を取りはずし(M４サラネジ ３ヶ)、錠取付材内部へ配線してください。
❹ FIXパネル面では、C図のようにFIXフタの上下部を少し切欠き、FIX枠内部へ配線してください。

9.つづき

9-2 アイセンサーの取付け



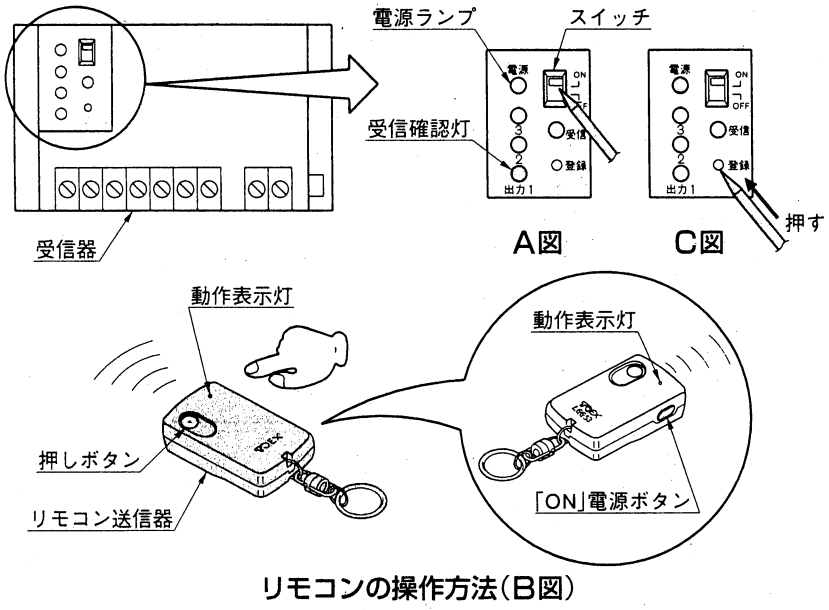
❶ アイセンサー取付金具(1)(2)とアイセンサーを左図のように組合わせ、ケーブルコネクターとジョイントしてください。

❷ アイセンサーを前面ゲートのレール面にネジ止めしてください。(左右各外側2ヶ所止め)

<注 意>

- 左右のアイセンサーが緑のランプに点灯するように調整して取付けてください。
- G.L.から30cm位の高さで、レールのV溝ラインより出ない位置に取付けてください。

10.送信器(リモコン)の登録方法と操作方法



リモコンの操作方法(B図)

❶ A図のように、受信器のスイッチを「ON」側にしてください。(電源ランプが点滅することを確認してください。)

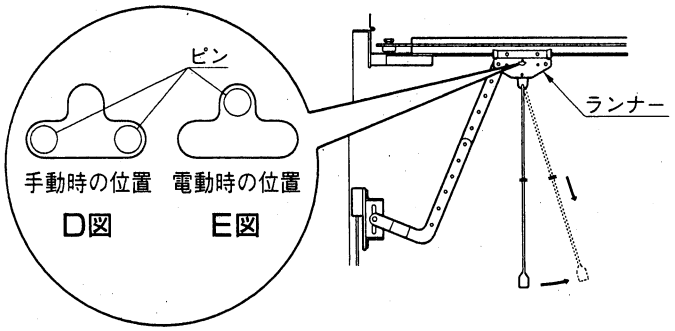
❷ B図のように、リモコンの電源ボタンを押し、動作表示灯が点滅している間に送信ボタンを押し、リモコンの登録を行なってください。(受信確認灯が点灯すれば、正常な登録が完了しました。)

❸ 複数のリモコンを登録する場合は、電源ランプが点滅している間に❷と同様に行なってください。

❹ リモコンの登録がすべて完了したら、C図のように登録ボタンをボールペンの先などで押してください。その際、電源ランプが点灯に変わるのを確認してください。

❺ リモコンの操作は、B図と同様に行ないます。

11.ゲートパネルと電動セットの連結方法



❶ 赤い紐を引き、E図のようにピンを中央部にしてゲートパネルを手で動かし、ランナーと連結してください。

❷ ゲートパネルを手動操作させたいときは、赤い紐を引き、D図のようにピンを左右の位置にしてください。

<注 意>

- 停電のときなど、やむを得ないときのみにお使いください。

12.開閉リミットの調整

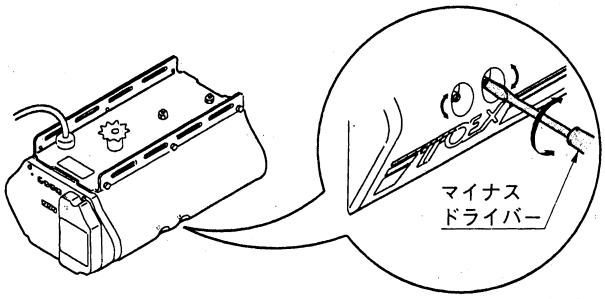
※ゲートパネルの停止位置(高さ)を設定します。

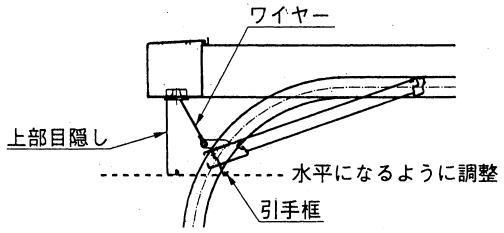
<注 意>

- 「13.安全装置の調整」の、安全装置調整ツマミを反時計方向(＋)へ回してから行なってください。(閉口用,開口用,両方とも)
- 電動装置が作動しない場合は、左のツマミを反時計方向へ2,3回転回してからもう一度リモコン操作を行なってみてください。

12-1 開口高の調整(右のツマミ)

- 開口高を低くしたい場合・・・時計方向へ回す
- 開口高を高くしたい場合・・・反時計方向へ回す



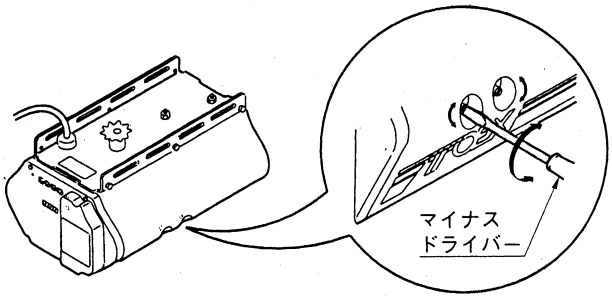


<注 意>

- 上図のように上部目隠し下面と引手框下面が水平になる高さに設定してください。ワイヤーの耐久性が落ちる可能性があります。

12-2 閉口高の調整(左のツマミ)

- 閉口高を低くしたい場合・・・時計方向へ回す
- 閉口高を高くしたい場合・・・反時計方向へ回す



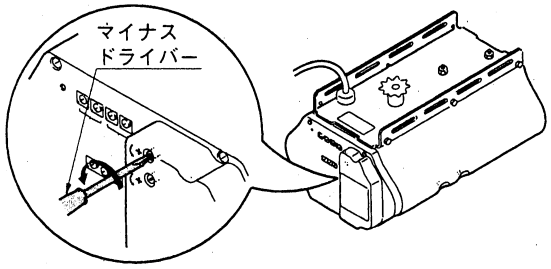
<注 意>

- ゲートパネルがG.L.面にぶつかって全開してしまう場合は、反時計方向へ回してG.L.面で止まるように調整してください。

13.安全装置の調整

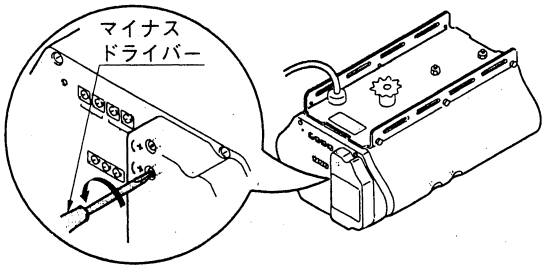
※ゲートパネルが開閉時に、障害物(外力)を感知した際の安全作動装置です。

- 閉口時に障害物を感知すると・・・・・一旦止まって全開します
- 開口時に障害物を感知すると・・・・・停止します



- 通常は上のツマミを、時計方向にいっぱいに回してお使いください。(最も感度が敏感な状態)

閉口時の感度調整



- 通常は下のツマミを、時計方向にいっぱいに回してお使いください。(最も感度が敏感な状態)

開口時の感度調整

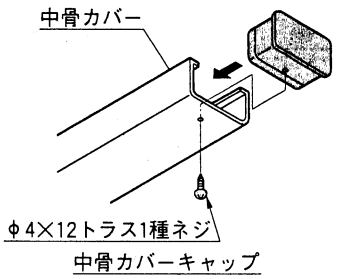
<注 意>

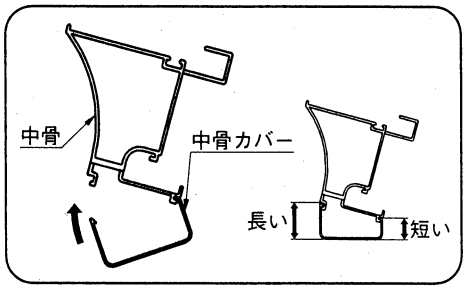
- ゲートパネルを手動にして動かし、スムーズに開閉できることを確認してから行なってください。

14.配線の仕方(中骨カバーとケーブルカバーの使い方)

14-1 中骨カバーの取付け

※中骨カバーは次項のように、配線カバーとしてもご使用になれます。

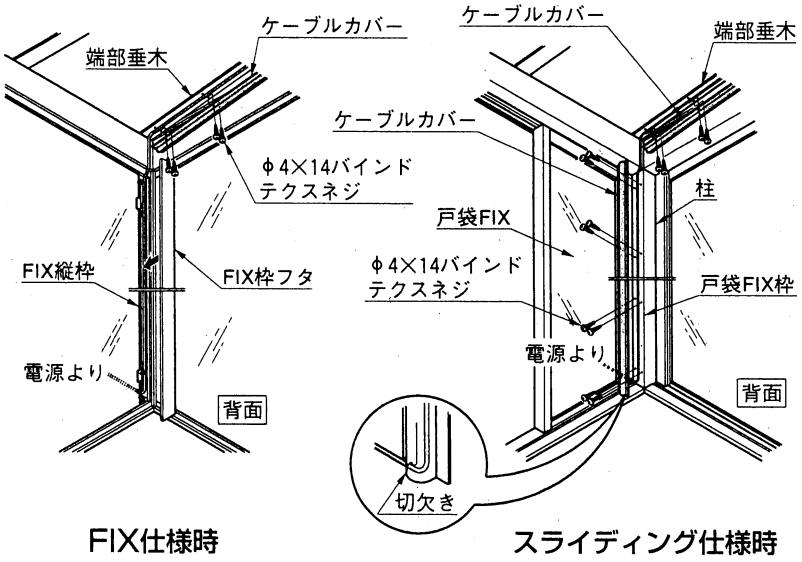




❶ 中骨カバーにキャップを取付けてください。(φ4×12トラス1種ネジを使用してください。)

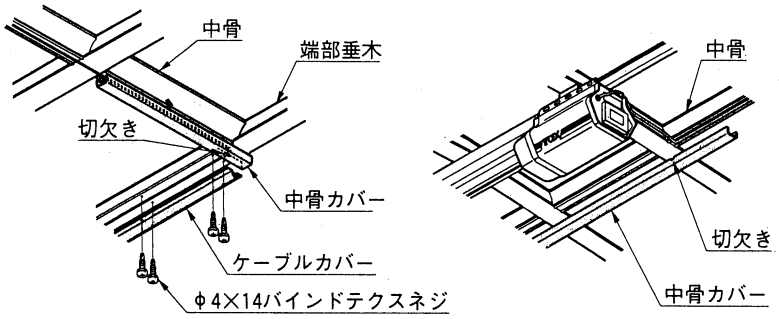
❷ 中骨カバーの向きに注意して、中骨の下に取付けてください。

14-2 60型(ガレージ)仕様の配線例



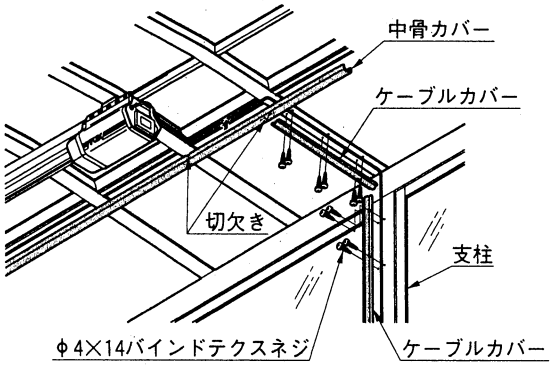
❶ 左図のようにFIX仕様の場合は、FIX縦枠へ、スライディング仕様の場合は戸袋FIX枠へ孔をあけ、外部から線を引き込んでください。

❷ 柱～端部垂木下面～中骨下面へ配線し、電動装置へ接続してください。



❸ あらかじめ配線口を切欠いた中骨カバーとケーブルカバーを取付けてください。(必要な長さに切断してお使いください。)

14-3 52型(カーポート)仕様の配線例



❶ 左図のように支柱～中間垂木下面～中骨下面と配線し、中骨カバーとケーブルカバーを取付けてください。

ーFIXパネルー

■梱包明細書

①FIX枠セット　1側面（2梱包）　背面（1梱包）

名　　称	員数
FIX縦枠	2
FIX縦枠フタ	2
FIX上枠	1
FIX下枠	1
FIX中枠	3
中枠組付金具	6
面材押え金具	4
φ４×10トラス３種ネジ　（D＝8）（色）	8
φ４×14バインドテクスネジ　（色）	36（2）

②FIX連結材セット　1側面（1梱包）

名　　称	員数
FIX連結材	1
φ４×14バインドテクスネジ　（色）	4

③FIXパネルセット

名　　称	員数		
	1枚入	2枚入	3枚入
FIXパネル	1	2	3

④採光パネルセット

名　　称	員数
採光パネル	1

⑤換気パネルセット

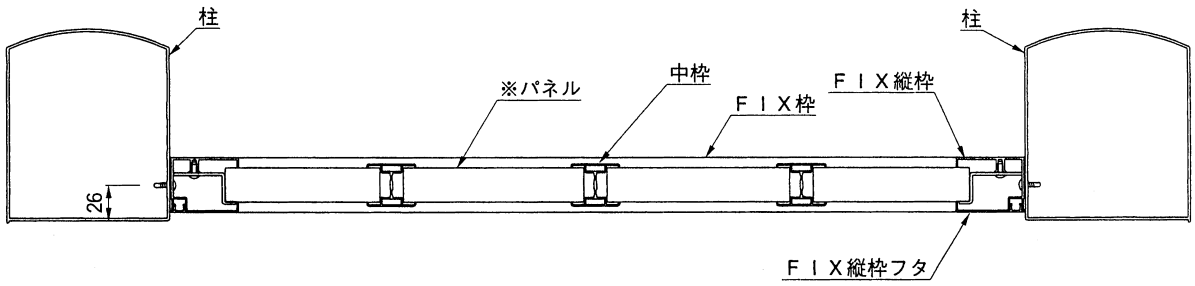
名　　称	員数
換気パネル	1

⑥ドアパネルセット

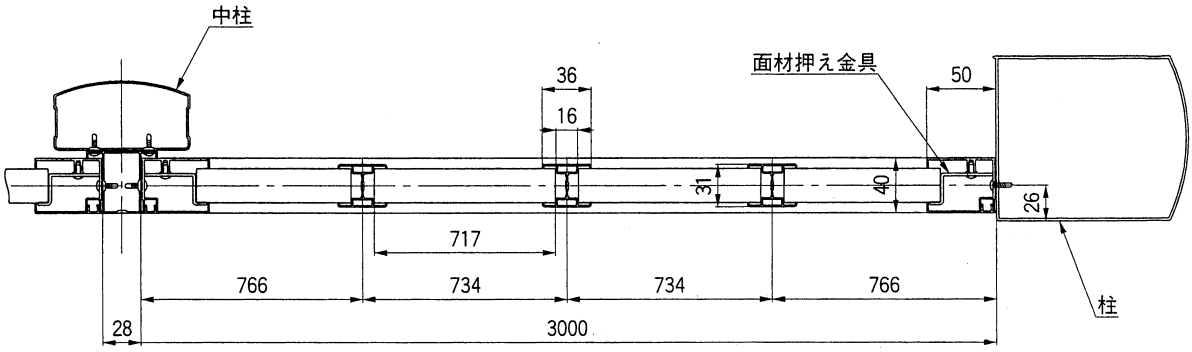
名　　称	員数
ドア	1
ドア水切り	1
ドアノブセット	1
内、外ノブ	各1
錠ケース	1
キー	3
ヒンジ	2
固定リング	1
φ４×35サラ１種ネジ　（色）	16
φ４×12サラ３種ネジ　（生地）	18
M５×22サラネジ	2
ドアノブ取付説明書	1

※（　）内は、予備ネジの数

1.パネルの納まり



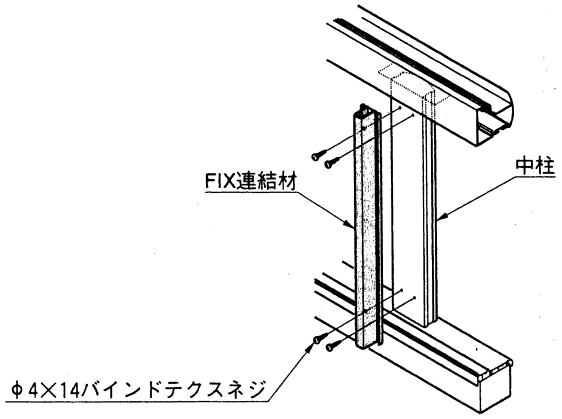
後面



側面

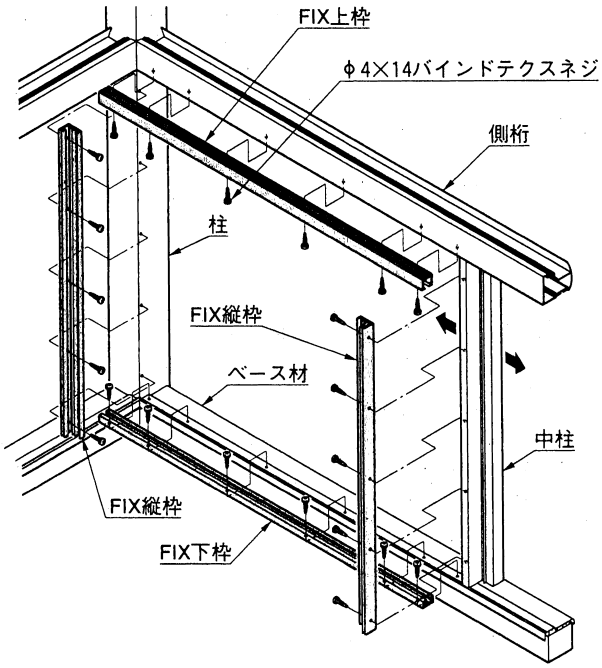
※ パネルは、FIXパネル・ドアパネル（P27参照）・採光パネル・換気パネルが、どこでも取付け可能

2.FIX連結材の取付け



❶ FIX連結材をφ４×14バインドテクスネジで、中柱に取付けてください。
（Ｖ溝合わせ）

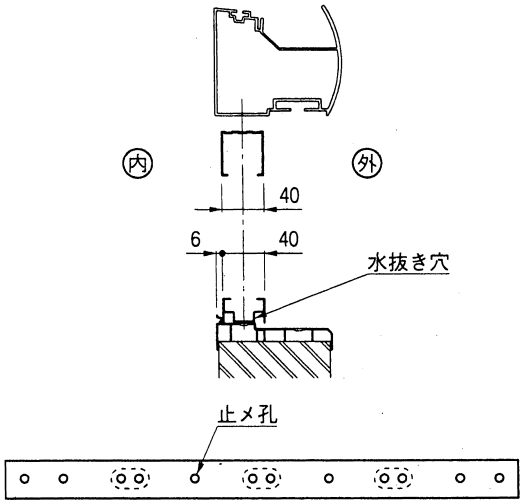
3.FIX枠の取付け



❶ FIX上枠と下枠をそれぞれ、側桁とベース材のＶ溝に合わせて取付けてください。
（各６ヶ所止メ）

<注 意>
- 中柱の位置を調整してください。

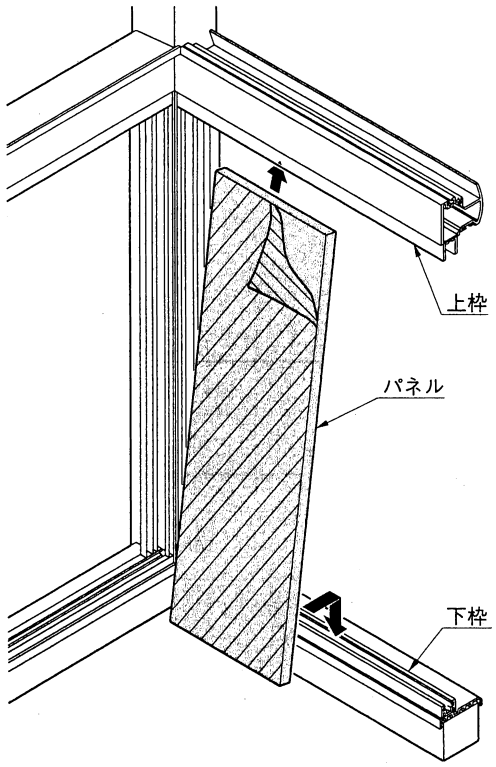
❷ FIX縦枠を柱および、FIX連結材のＶ溝に合わせて取付けてください。
（全てφ４×14バインドテクスネジを使用してください。）



<注 意>
- 水抜き穴があいている側を外側に取付けてください。
- 上枠、下枠の取付孔に注意してください。
左図の（　）孔は使用しないでください。

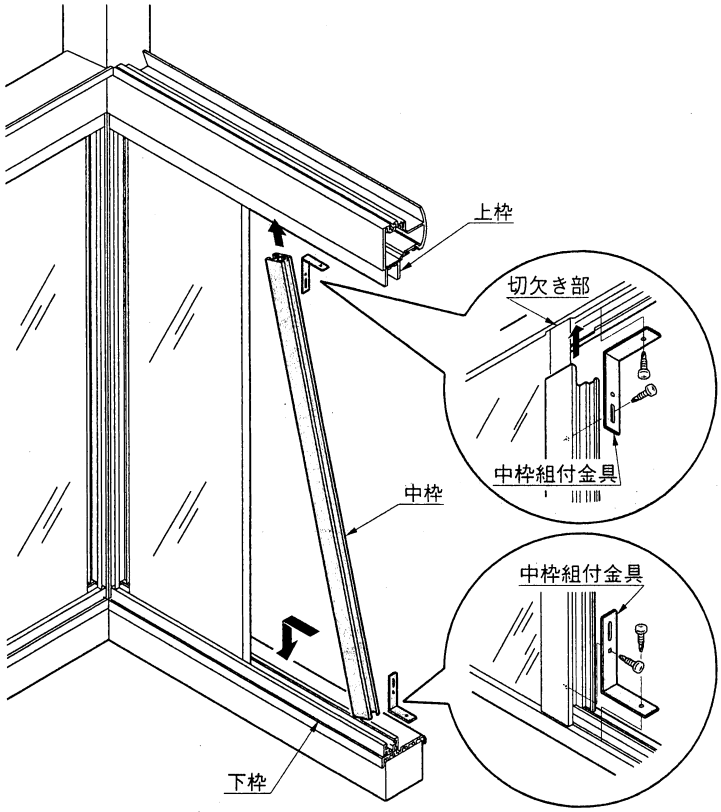
4.パネルのはめ込み

FIXパネル、採光パネル、換気パネルの場合
（ドアパネルの場合はP27をご覧下さい。）



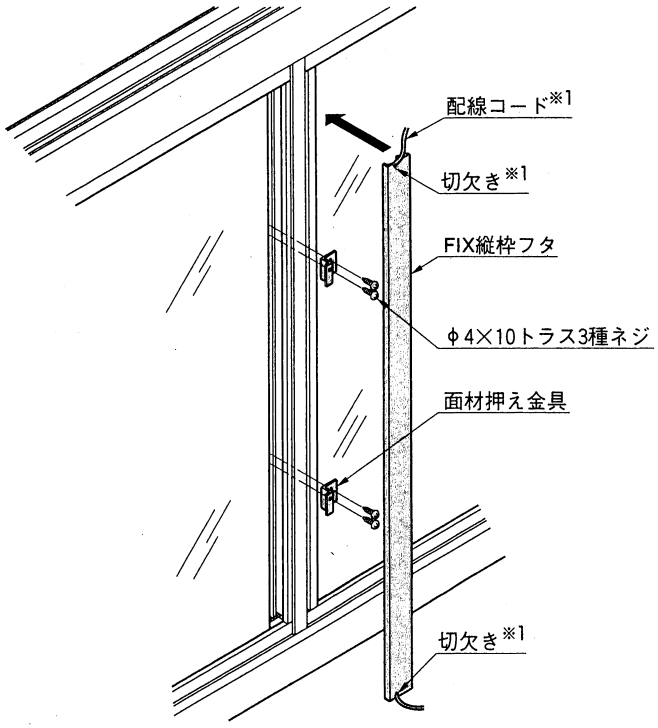
❶ パネルの保護シートをはがしてください。（表裏）
❷ パネルを上下の枠にはめ込んでください。

5.FIX中枠の取付け



❶ 中枠を上枠の切欠き孔に差込みパネルにはめ込んでください。
❷ 中枠組付金具で中枠を固定してください。
（φ４×14バインドテクスネジを使用してください。）

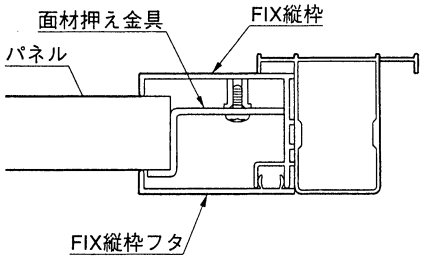
6.面材押え金具とFIX枠フタの取付け



❶ FIX縦枠に面材押え金具を取付けて、パネルを固定してください。（φ４×10トラス３種ネジを使用してください。）
❷ FIX枠フタをFIX縦枠にしっかりとはめ込んでください。

<注 意>

● 前柱側への取付けの際、配線用の孔加工とコード配線が必要となりますので、P20「９.アイセンサーの取付け」を参照してください。（※１）



断面図

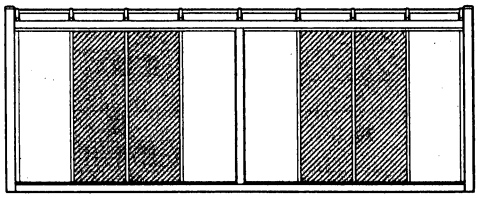
7.ドアパネルの取付け

7-1 ドアパネルの取付位置

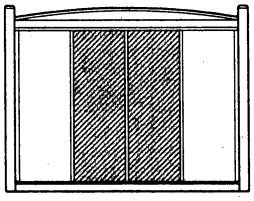
❶ ドアパネルは ▨ 部に取付け可能です。

<注 意>

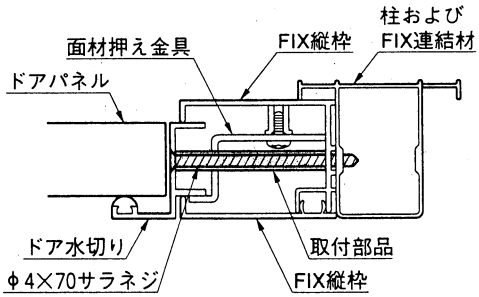
● その他の箇所への取付けは、取付部品とφ4×70サラネジが必要となりますので別途ご注文ください。



(側面)

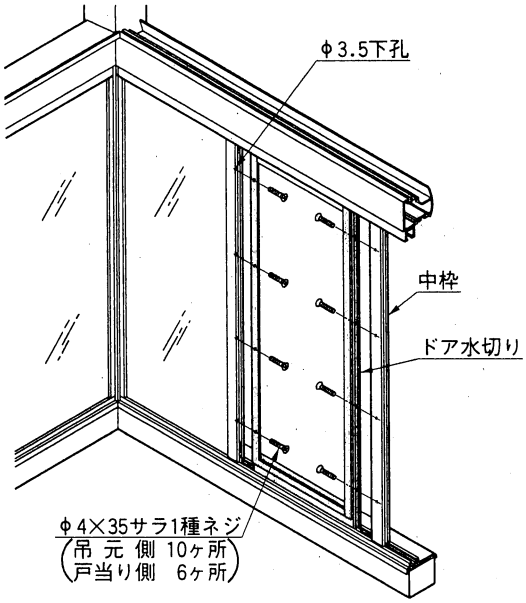


(後面)



断面図

7-2 ドア水切りの取付け



❶ パネルのはめ込みと同様に水切りをはめ込み、中枠に取付けてください。

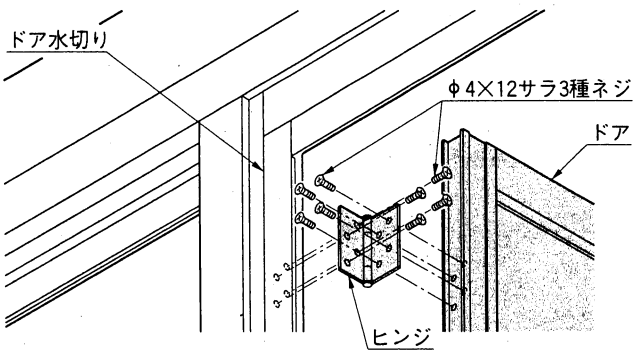
- **ドアは外開きが基本ですが内開きも可能です。**
- **ドア勝手は左右どちらでも対応可能です。**

❷ 水切り取付孔に合わせて、中枠にφ3.5の孔をあけφ4×35サラ1種ネジで固定してください。

<注 意>

● 採光パネルがドアの隣に付く場合は、採光パネルにもφ3.5の孔をあけ、共締めしてください。

7-3 ドアの取付け

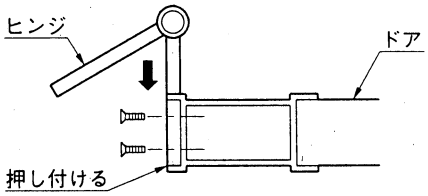


❶ ドアを水切りへヒンジを使って取付けてください。

❷ ノブを別紙説明書に従い取付けてください。

<注 意>

● ヒンジはドア枠材のフィンの部分に押し付けるように取付けてください。



ースライディングパネルー

■梱包明細書

1 戸袋セット

名　　称	員　数	
	右勝手用	左勝手用
戸袋上レール（外）（内）	各1	各1
戸袋下レール（A）（B）（C）	各1	各1
戸袋下レールコーナー	1	1
戸袋吊り金具	1	1
戸袋上レールストッパー	1	1
レールエンドキャップ	2	2
φ4×20トラス1種ネジ　（D＝8）（色）	2	2
φ4×8トラス3種ネジ　（D＝8）（色）	12	12
φ4×14バインドテクスネジ　（色）	17（2）	17（2）
フィッシャー	3	3
φ4.1×32丸木ネジ　（色）	3	3

2 側桁レールセット

名　　称	員 数
側桁上レール	1
側桁下レール	1
φ4×14バインドテクスネジ　（色）	22

3 後桁レールセット

名　　称	員 数
後桁上レール	1
後桁下レール	1
φ4×14バインドテクスネジ　（色）	10

4 戸袋FIX枠セット　1戸袋（1梱包）

名　　称	員 数
戸袋FIX枠組付金具	2
戸袋FIXスペーサー	1
φ4×10トラス3種ネジ　（D＝8）（色）	4
φ4×14バインドテクスネジ　（色）	13
φ4×40トラス1種ネジ　（D＝8）（生地）	4

4 つづき

名　　称	員 数
戸袋FIX枠組付金具	2
戸袋FIXスペーサー	1
φ4×10トラス3種ネジ　（D＝8）（色）	4
φ4×14バインドテクスネジ　（色）	13
φ4×40トラス1種ネジ　（D＝8）（生地）	4

5 引手パネルセット

名　　称	員　数	
	右勝手用	左勝手用
引手パネル	1	1
中間パネル	1	1
パネル連結材	2	2
錠取付材	1	1
振れ止め	1	1
振れ止め裏板	1	1
φ4×14バインドテクスネジ　（色）	8	8
φ4×20トラス3種ネジ　（色）	2	2

6 中間パネルセット

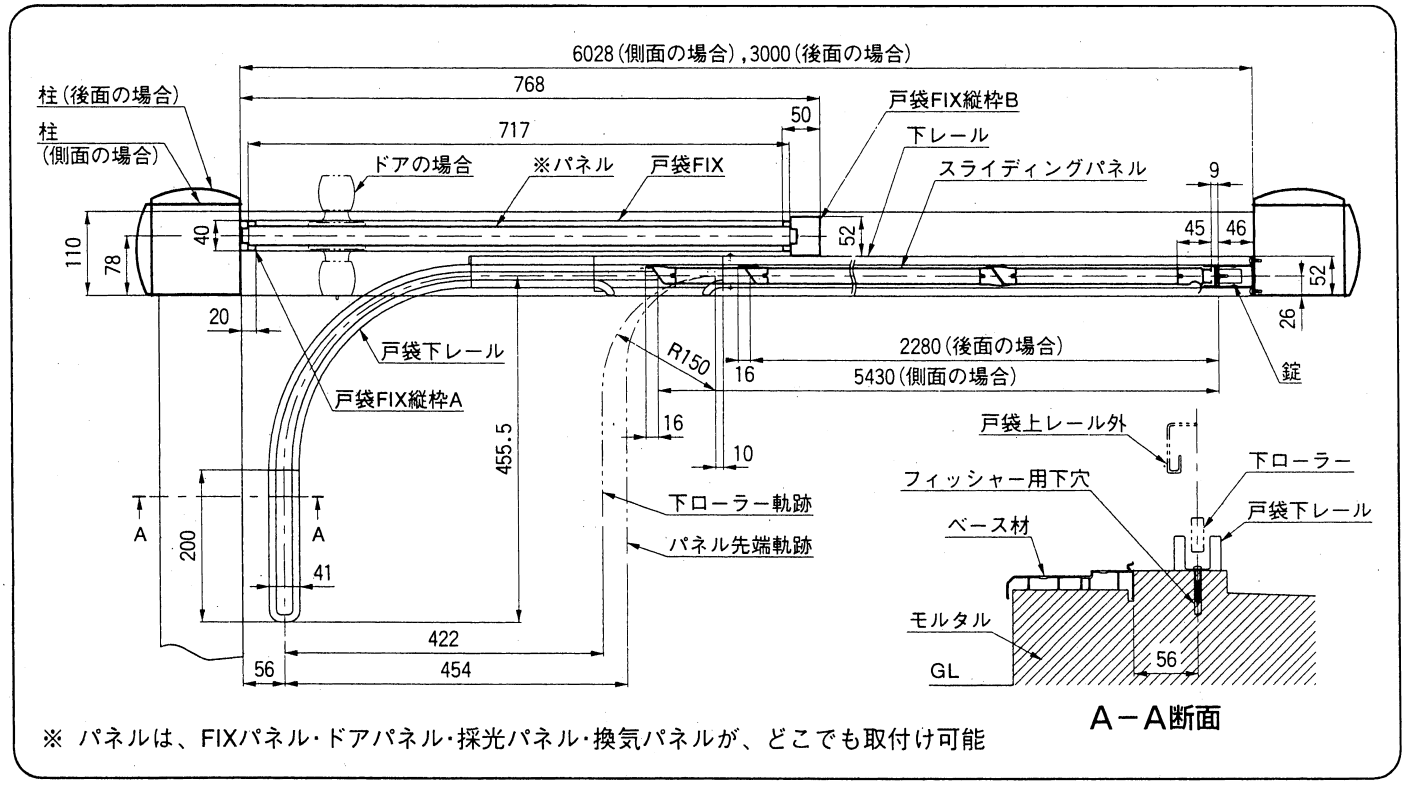
名　　称	員　数			
	右勝手用		左勝手用	
	3枚入	1枚入	3枚入	1枚入
中間パネル	3	1	3	1
パネル連結材	6	2	6	2

7 採光パネルセット

名　　称	員　数	
	右勝手用	左勝手用
採光パネル	1	1
パネル連結材	2	2

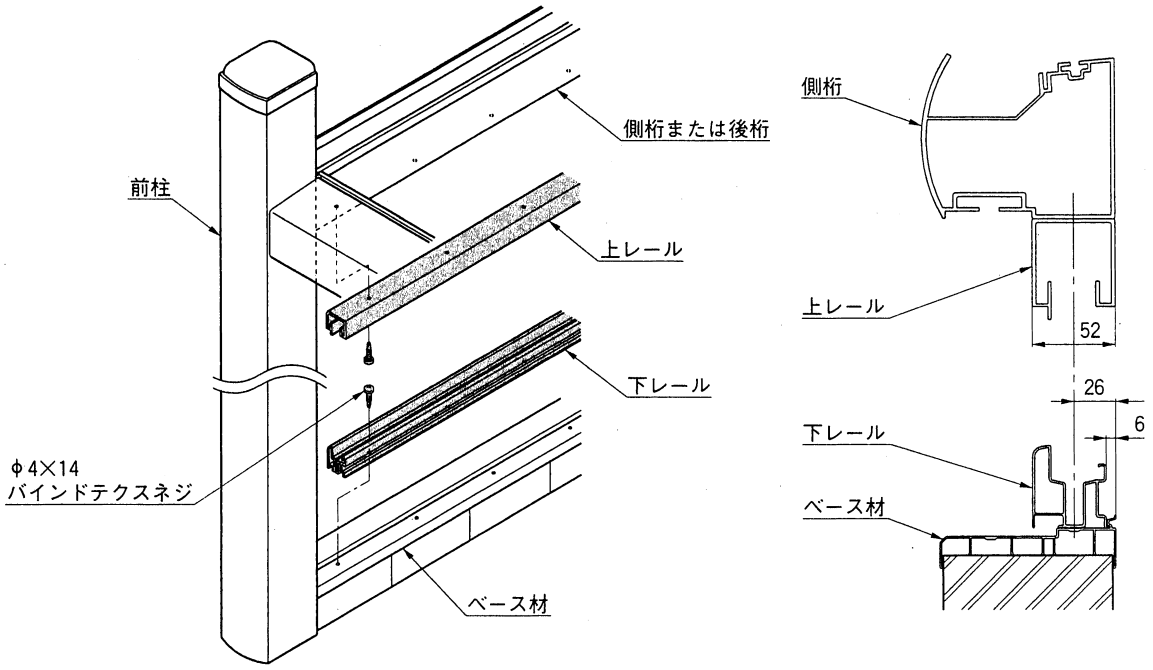
※（　）内は、予備ネジの数

1.パネルの納まり



※ パネルは、FIXパネル・ドアパネル・採光パネル・換気パネルが、どこでも取付け可能

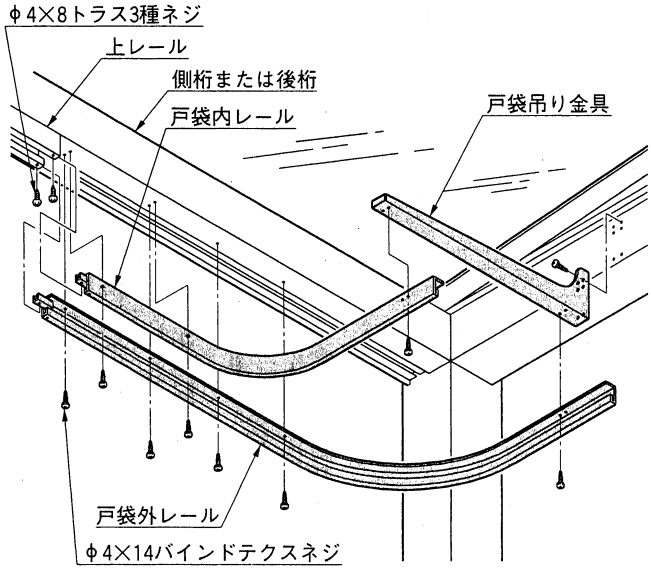
2.上下レールの取付け



❶ 上レール、下レールをそれぞれ側桁・後桁下面(真中のV溝)およびベース材のV溝に合わせて取付けてください。
(φ4×14バインドテクスネジを使用してください。)

3.戸袋上下レールの取付け

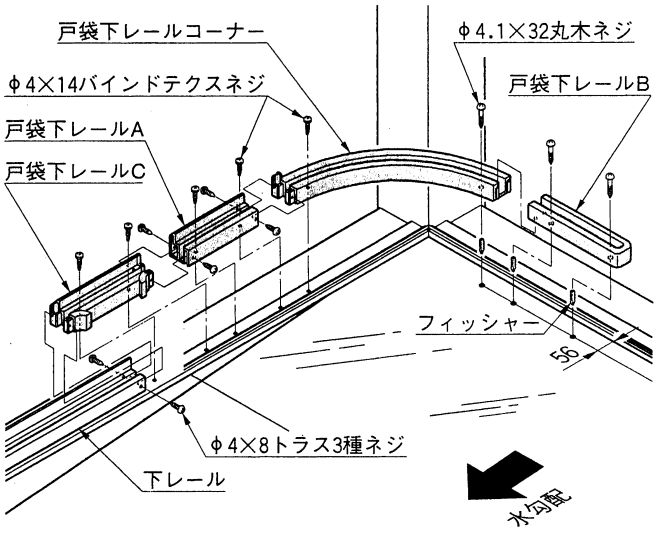
3-1 戸袋上レールの取付け



❶ 上図のように戸袋内レールおよび外レールを、それぞれ連結金具を使用して上レールと連結し、側桁・後桁下面のV溝に合わせて取付けてください。

❷ 戸袋吊り金具を戸袋上レールに取付けて、側桁または後桁のV溝に合わせて取付けてください。

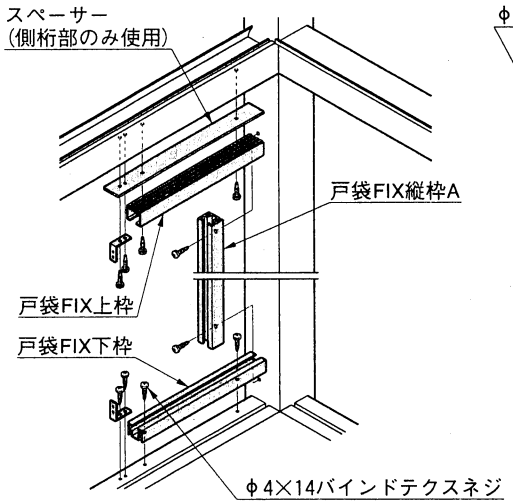
3-2 戸袋下レールの取付け



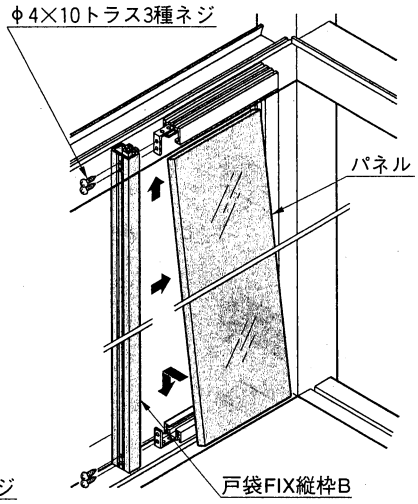
❶ 上図のように各部品をφ4×8トラス3種ネジで連結し、φ4×14バインドテクスネジでベース材に取付けてください。

❷ 戸袋部はモルタル等にてベース材上面まで仕上た後、フィッシャーと木ネジで固定してください。
(フィッシャー打込み下孔φ6、3ヶ所)

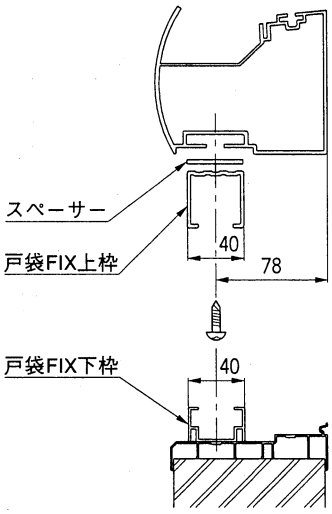
4.戸袋FIXの取付け



A図



B図



側桁部FIX枠納まり

❶ A図のように各戸袋FIX枠および金具を、側桁または後桁、柱、ベース材のV溝に合わせてφ4×14バインドテクスネジで取付けてください。(側桁部は上図のようにスペーサーをはめ込み、側桁に下孔φ3.5をあけφ4×40トラス1種ネジで固定してください。)

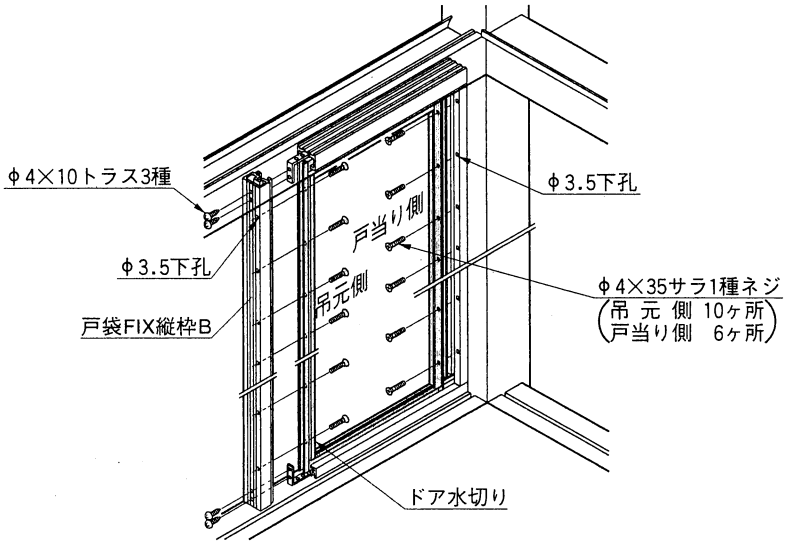
❷ B図のようにパネルをはめ込み、戸袋FIX縦枠Bをφ4×10トラス3種ネジで取付けてください。

<注 意>

- ドアパネル仕様は次項をご覧ください。

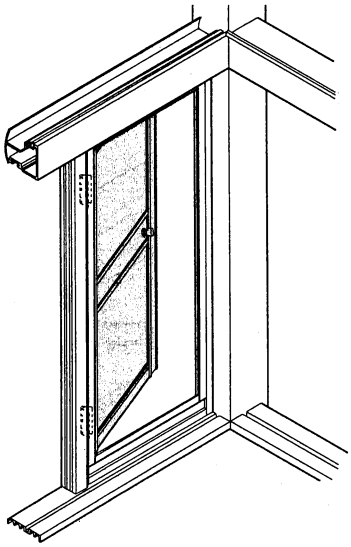
5.戸袋部ドアの取付け

5-1 ドア水切りの取付け



❶ 前項と同様に戸袋FIX枠を取付けた後、ドア水切りと戸袋FIX縦枠Bを取付けてください。(水切り取付け孔に合わせて柱および戸袋FIX縦枠Bにφ3.5の孔をあけ、φ4×35サラ1種ネジで固定してください。)

5-2 ドアの取付け

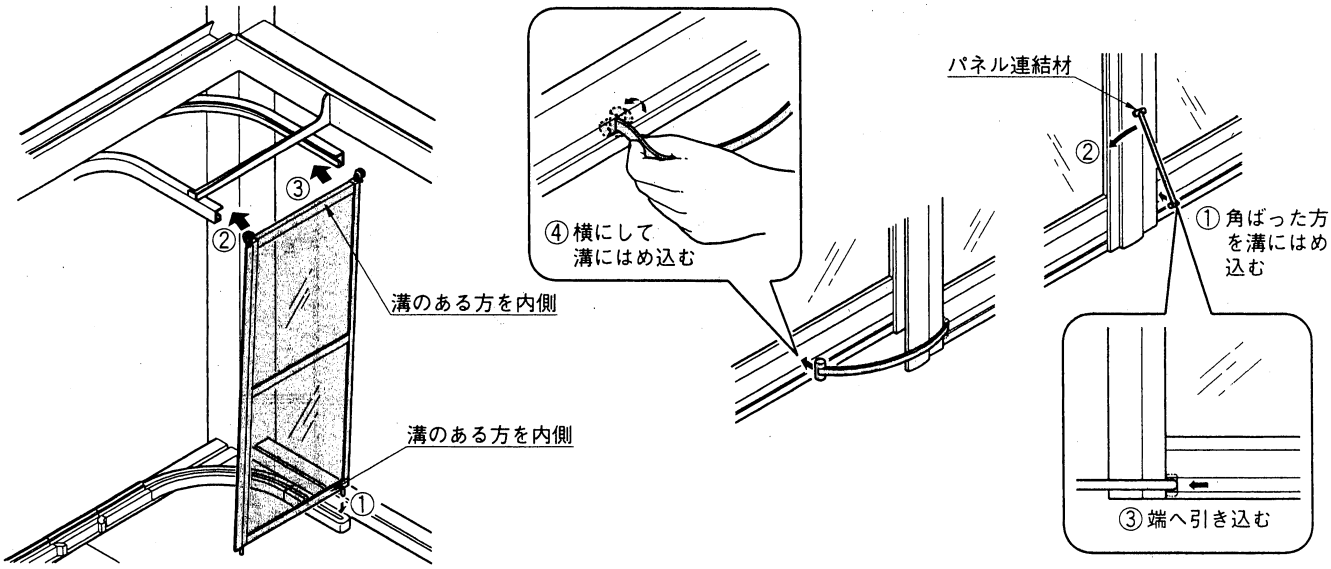


❶ P27「ドアパネルの取付け」と同様に、ドアを取付けてください。

<注 意>

- **スライディングパネルの開閉機能上、戸袋FIX縦枠B側が吊元側で、更にドアは外開きになるように取付けてください。**

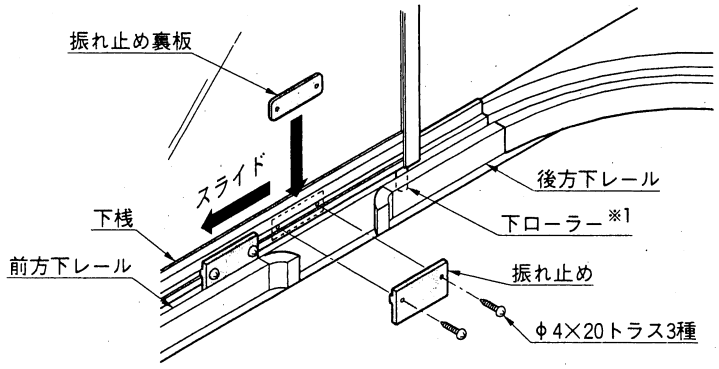
6.パネルの吊り込みと連結



❶ パネルの上下桟に溝のある方を内側にしてパネルを吊り込んでください。
❷ 中間パネルも同様に吊り込んでください。
❸ パネル連結材の角ばった方を後方パネルにはめ込み、もう一方を前方パネルにはめ込んでください。

<注 意>
● 本文の作業は戸袋部で行なってください。

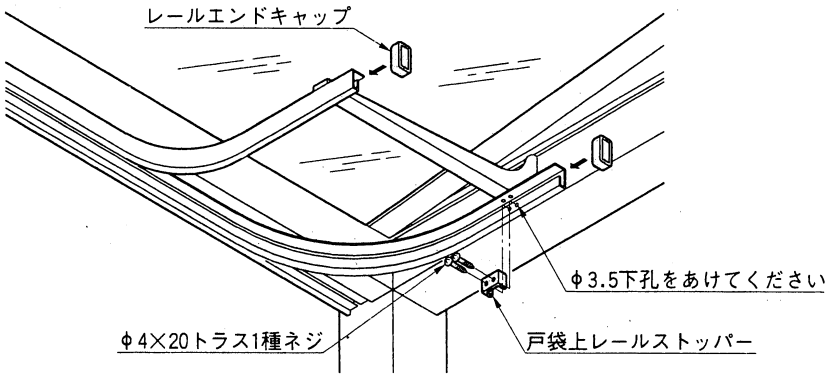
7.振れ止めの取付け



❶ 最後尾パネルの下桟溝に、振れ止め裏板を入れてください。

❷ 下ローラー(※1)が後方下レールの中にある状態で、振れ止めを前方下レールの中へ取付けてください。

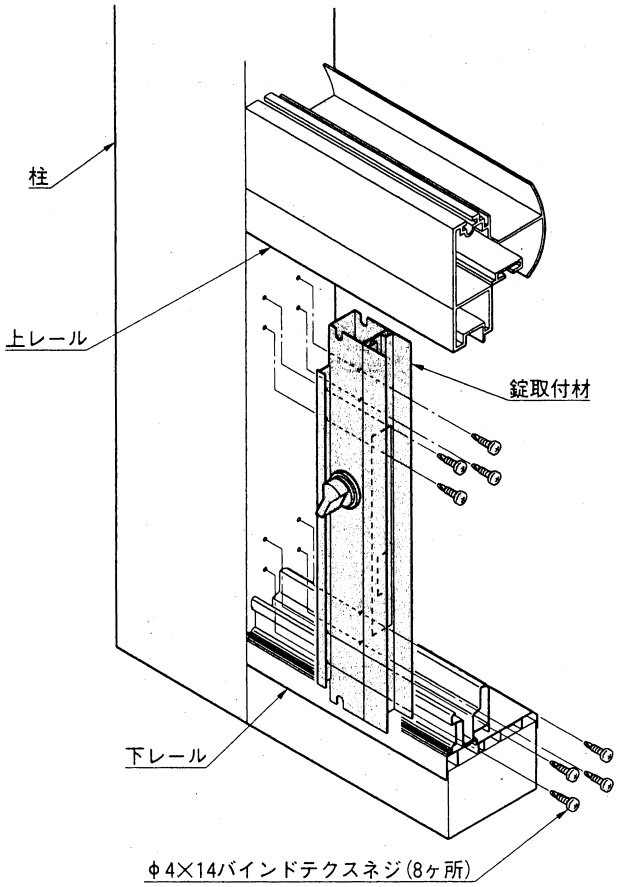
8.戸袋上レールストッパーとレールエンドキャップの取付け



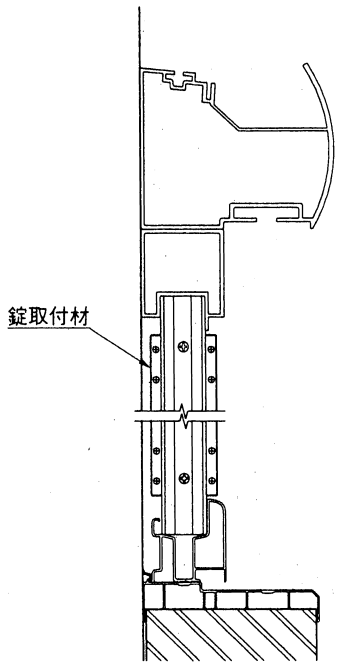
❶ パネルを戸袋に納めた状態で、パネルのバタツキ防止のための戸袋上レールストッパーをφ4×20トラス1種ネジで取付けてください。(下孔φ3.5)

❷ レールエンドキャップをはめ込んでください。

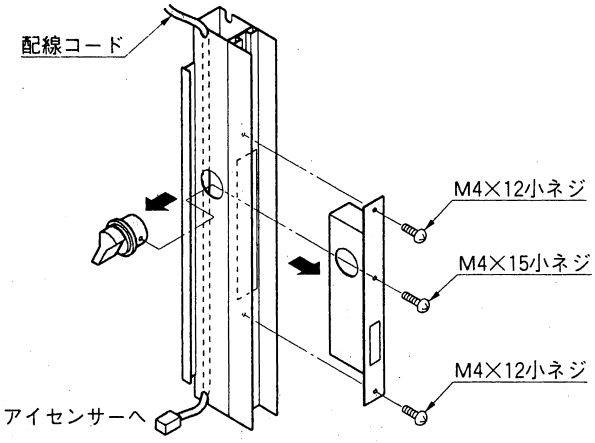
9.錠取付材の取付け



❶ 左図のように錠取付材を上下レールの中へはめ込み、φ４×14バインドテクスネジで柱に取付けてください。



※前柱への取付け時の注意



● **前柱へ錠取付材を取付ける場合は、あらかじめコード配線が必要となりますので、P20「9.アイセンサーの取付け」を参照してください。**

工事店様へ

●仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。

●みだりに改造、変更はしないでください。

●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

施主様へ

●月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。
また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

●ご使用いただきましてありがとうございました。

取説コード
D183
ID-A①
200009H